

# 東京圏から東京圏外への移住者の意識・ 行動に関するアンケート調査結果

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局  
(株) インテージリサーチ  
令和3年11月

## (目次)

### I はじめに

1. 目的
2. アンケート調査の対象等
3. 調査対象の属性

### II アンケート結果

1. 東京圏から東京圏外への移住の状況（コロナ禍の状況とコロナ禍以前との相違）
2. 同 （コロナ禍の状況における男女の相違）
3. まとめと今後の課題

(参考) 東京都からの移住者の特色

### III 付表

# I はじめに

## 1. 目的

- 本アンケート調査においては、これまで十分な情報が得られてこなかった東京圏から東京圏外への移住者の意識・行動に関して、情報を得るとともに、新型コロナウイルス感染症拡大（2020年4月）の前後で、意識・行動に変化が見られたかどうかを調査する。

## 2. アンケート調査の対象等

- 調査対象：東京圏（又は東京都）からの移住者

（注）移住の定義は「転出は自身又は世帯員の意思に基づくもの」とした。

- 調査方法：インターネット調査（インターネットモニター「マイティモニター」）
- 調査期間：2021年7月13日～7月20日
- サンプル数

新型コロナウイルス感染症拡大（2020年4月）以降に東京圏から東京圏外に移住した者（1,814サンプル）

うち新型コロナウイルス感染症拡大（2020年4月）以降に東京都から東京圏外に移住した者（923サンプル）

新型コロナウイルス感染症拡大（2020年3月）以前に東京圏から東京圏外に移住した者（4,373サンプル）

うち新型コロナウイルス感染症拡大（2020年3月）以前に東京都から東京圏外に移住した者（1,766サンプル）

新型コロナウイルス感染症拡大（2020年4月）以降に東京都から3県に移住した者（608サンプル）

新型コロナウイルス感染症拡大（2020年3月）以前に東京都から3県に移住した者（1,348サンプル）

### 3. 調査対象の属性

東京圏から東京圏外への移住者の属性を整理すると、以下の通りである。

- 男女比では、男性が約**57%**、女性が約**43%**であった。
- 移住時の年齢構成では、**20代**、**30代**、**40代**、**50代**がそれぞれ**2割**前後で中心となっている。女性は**20代**と**30代**が合わせて**6割**。
- 移住前の就業・就学の状況では、回答者の約**6割**が正規職員であった。（女性は非正規、専業主婦が多い）
- 移住前の家族構成では、単身が**4割**弱で、同居人ありが**6割**強。同居人ありの家族のうち約**7割**が家族を伴って移住。
- 移住前の住所では、東京都がコロナ禍は**5割**。コロナ禍以前から約**1割**増加している。
- 移住先を道府県別で見ると、大阪府（**10%**）、北海道（**8%**）、愛知県（**6%**）の順で高い。地域では、中部（**25%**）、近畿（**20%**）、北関東（**14%**）などが高い。

## (調査対象の属性)

- サンプル数①：コロナ禍1814、コロナ禍以前4373

		n=	東京都から東京都外に移住	東京圏から東京圏外に移住 (%)
(コロナ禍) 東京圏からの移住者	TOTAL	1814	50.9	49.1
	男性	1031	51.8	48.2
	女性	783	49.7	50.3
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者	TOTAL	4373	40.4	59.6
	男性	2411	41.1	58.9
	女性	1962	39.4	60.6

- サンプル数②：

コロナ禍 男性約56.8%、女性が約43.2%  
 コロナ禍以前 男性約55.1%、女性が約44.9%

### Q1 性別

		n=	男性 (%)	女性 (%)
(コロナ禍) 東京圏からの移住者		1814	56.8	43.2
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者		4373	55.1	44.9

- 移住時の年齢構成：20代から50代が中心。男性は60代も14.5%あり、女性は20代と30代が合わせて6割。

### Q4 移住時の年齢

		n=	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上 (%)
(コロナ禍) 東京圏からの移住者	TOTAL	1814	5.7	22.9	23.5	18.7	16.1	11.4	1.7
	男性	1031	5.6	16.2	19.8	21.4	20.7	14.5	1.8
	女性	783	5.7	31.8	28.4	15.2	10.1	7.4	1.4
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者	TOTAL	4373	7.0	25.9	22.8	18.9	14.4	9.5	1.5
	男性	2411	6.5	17.8	19.4	22.5	18.7	13.5	1.7
	女性	1962	7.6	35.8	27.1	14.6	9.2	4.5	1.2

- 移住前の居住地：東京都が、コロナ禍は5割、コロナ禍以前は4割。

### Q2 移住前に居住していた都県

		n=	東京都 市町村:	神奈川県 市町村:	千葉県 市町村:	埼玉県 市町村:	(%)
(コロナ禍) 東京圏からの移住者	TOTAL	1814	50.9	23.2	12.3	13.6	
	男性	1031	51.8	23.1	11.7	13.4	
	女性	783	49.7	23.4	13.0	13.9	
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者	TOTAL	4373	40.4	27.7	15.2	16.7	
	男性	2411	41.1	27.8	14.8	16.3	
	女性	1962	39.4	27.6	15.7	17.2	

- 移住先：道府県別では、大阪府（9.4%）、北海道（7.9%）、愛知県（6.1%）の順で高い。  
地域では、中部、近畿、北関東などが高い。

### Q3 移住直後の居住地

		n=	北海道	東北	北関東	中部	近畿	中国	四国	九州	(%)
(コロナ禍) 東京圏からの移住者	TOTAL	1814	7.9	12.0	13.6	24.6	19.6	6.3	2.6	13.3	
	男性	1031	7.3	12.1	12.4	25.3	20.6	5.9	2.8	13.6	
	女性	783	8.8	11.9	15.2	23.7	18.3	6.8	2.4	12.9	
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者	TOTAL	4373	8.0	12.0	13.0	24.6	19.4	6.1	3.1	13.8	
	男性	2411	7.9	12.8	12.3	23.5	20.3	6.6	3.2	13.4	
	女性	1962	8.2	11.1	13.8	26.1	18.2	5.5	2.9	14.2	

- 移住前の就業・就学の状況：正規職員が約6割（男性が7割、女性は4割）。女性は専業主婦が16.1%。

### Q5 移住前の就業・就学状況

				(%)				
		n=	正規職員	自営業・フリーランス	非正規職員 (パート、アルバイト、派遣職員等)	高校、大学、専門学校などに在学 (正規雇用でない状態)	専業主夫・主婦	無職
(コロナ禍) 東京圏からの移住者	TOTAL	1814	58.6	7.1	14.4	6.4	7.1	6.4
	男性	1031	70.6	8.5	7.0	6.2	0.3	7.4
	女性	783	42.8	5.1	24.1	6.6	16.1	5.2
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者	TOTAL	4373	59.5	6.2	15.2	7.3	7.3	4.5
	男性	2411	72.7	7.3	7.7	6.6	0.2	5.4
	女性	1962	43.3	4.7	24.5	8.2	16.0	3.3

- 移住前に同居していた世帯の構成員：同居人ありが6割強（同居人ありは女性がやや多い）。

### Q6 移住前に同居していた世帯の構成員

				(%)							
		n=	回答者自身のみ	同居人あり							
				配偶者	子ども(就学 児以上)	父親・母親	子ども(未就 学児)	祖父母	孫	その他 具体的に:	
(コロナ禍) 東京圏からの移住者	TOTAL	1814	37.7	62.3	43.8	20.5	15.9	9.8	2.2	0.7	3.6
	男性	1031	40.9	59.1	44.0	22.5	15.2	8.3	1.9	0.5	2.0
	女性	783	33.3	66.7	43.4	17.8	16.7	11.7	2.6	0.9	5.6
(コロナ禍以前) 東京圏からの移住者	TOTAL	4373	38.6	61.4	41.9	17.1	16.4	9.9	1.6	0.3	3.4
	男性	2411	44.2	55.8	42.8	18.1	12.2	8.9	0.9	0.3	1.4
	女性	1962	31.8	68.2	40.8	15.9	21.6	11.2	2.4	0.2	5.8

## Ⅱ アンケート結果

1. 東京圏から東京圏外への移住の状況  
(コロナ禍の状況とコロナ禍以前との相違)

## 1. 東京圏から東京圏外への移住者の特色とコロナ前後の変化

- 同居者との関係では、「同居者を伴う移住」が7割で、かつ、コロナ禍ではやや増加している。
- 移住後の居住形態では、「賃貸」が5割、「自己所有」が3割である。コロナ禍に「自己所有」が若干増加し、「賃貸」は若干低下している。
- 移住の要因では、「通勤・通学環境を変えるため」、「移住先に希望する仕事・職場等があったため」、「労働環境を変えるため」が高い。コロナ禍では「災害や感染症等のリスクを回避するため」、「通勤・通学環境を変えるため」、「失職または収入源のため」が増加している。
- 身の回りの変化では、「自身が転職した」、「自身が転勤した」、「自身が就職した」が高い。
- 移住先との関係では、「自身の出身地であった」が4割を占め、続いて「親族、同居人の出身地であった」、「訪問したことがあった」、「関わったことはなかった」が高い。コロナ禍では「自身の出身地であった」が増加している。
- 現在の東京圏に戻る予定では、「ない」が5割、「戻ることが確定」「いずれ戻る予定がある」が合わせて25%。
- 移住に当たり不足していると感じた情報では、「仕事、求職の情報」、「交通網、交通手段に関する情報」、「住居の情報」が高い。
- 新型コロナウイルス感染症拡大をうけての東京圏外で暮らすことへの考え方の変化では、「東京圏外での暮らしを望むようになった」「どちらかといえば東京圏外での暮らしを望むようになった」（合わせて4割）、「変わらなかった」（4割）が高い。
- 居住するのに最も理想的な地域では、地方圏の中核市以上の大きめの都市とその通勤圏が高い。

- コロナ禍の地方圏のイメージでは、「人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」、「やりがいのある仕事が多くなった」、「生活環境が良くなって住みやすくなっている」が高い。コロナ禍では「やりがいのある仕事が多くなった」が増加している。
- コロナ禍の東京圏のイメージでは、「人・モノ・情報が集中しているため、豊かな生活ができる」、「やりがいのある仕事が多くなった」が高い。続いてネガティブな「働き続けられる機会が減った」が高い。
- 移住する際に利用した公共サービスでは、「移住支援金制度」、「移住先に所在する移住相談窓口」、「東京圏に所在する移住相談窓口」が高い。
- 在宅勤務制度の有無と利用頻度では、「制度がない等」、「制度があり、ほぼ毎日利用」、「制度があり、週に2～3日程度利用」が高い。コロナ禍では「制度があり、ほぼ毎日利用」が増加し、「制度がない等」が低下している。
- コロナ収束後の在宅勤務制度の利用の希望では、「在宅勤務を続けたい」、「日数を減らして在宅勤務を続けたい」が高い。

## 同居者との関係(Q7)

- ◆同居者との関係では、「同居者を伴う移住」が、71.5%で、かつ、コロナ禍では3.6%増加している。

**Q7 同居者を伴う移住**

	n=	全員または一部の世帯構成員がともに移住	誰も伴わない移住 (%)
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	1131	71.5	28.5
(コロナ禍以前) 東京圏か東京圏外への移住者	2684	67.9	32.1
※東京圏の コロナ前後の 差異		3.6	-3.6

(注) サンプル数は、全数から「移住前の同居していた世帯の構成員」の問いに「回答者自身のみ」と回答した者を除いて、移住前に同居者がいた回答者のみを対象にしている。

## 移住後の居住形態(Q8)

- ◆移住後の居住形態では、「賃貸」が51.2%、「自己所有」が29.7%である。コロナ禍では「自己所有」が3.0%増加し、「賃貸」は2.6%低下している。

Q8 移住後の居住形態

		(%)					
	n=	賃貸住宅、賃貸マンションに居住	持ち家、所有のマンションに居住	親族の家(自宅を含む)に居住	知人の家に居住	社宅に居住	その他具体的に:
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	1814	51.2	29.7	11.0	0.5	6.9	0.7
(コロナ禍以前) 東京圏から東京圏外への移住者	4373	53.8	26.7	10.7	1.0	6.8	0.9
※東京圏の コロナ前後の 差異		-2.6	3.0	0.3	-0.5	0.1	-0.2

## 移住した要因(Q10)

- ◆移住の要因では、「通勤・通学環境を変えるため」(20.8%)、「移住先に希望する仕事・職場等があったため」(17.1%)、「労働環境を変えるため」(14.4%)が高い。コロナ禍では「災害や感染症等のリスクを回避するため」(+6.2%ポイント)、「通勤・通学環境を変えるため」(+4.5%ポイント)、「失職または収入減のため」(+3.4%ポイント)が増加している。

Q10 移住した要因

(%)

	n=	通勤・通学環境(長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等)を変えるため	移住先の地域に希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため	労働環境(長時間労働、激務等)を変えるため	同居していない親族と同居、近居するため	地元または慣れ親しんだ地域(居住、訪問経験あり)で暮らすため	東京都、東京圏より人が少なく、静かな環境下で生活するため	広い居住空間を得るため	山や海などの自然環境の豊かな環境下で生活するため	家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため	同居の親族、同居人の移住に同行するため(同居の親族、同居人のみに該当する理由による移住に同行するもの)
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	20.8	17.1	14.4	11.3	12.5	10.9	7.3	11.4	6.9	5.5
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	16.3	17.8	12.6	10.4	11.4	8.5	5.6	8.9	6.2	5.4
※東京圏のコロナ前後の差異		4.5	-0.7	1.8	0.9	1.1	2.4	1.7	2.5	0.7	0.1

## 移住した要因(Q10) (続き)

### Q10 移住した要因

(%)

あなた自身 または同居 の親族、同 居人の健康 上の理由の ため	職務上の地 位、身分、 立場、賃金、 やりがいに 満足してい なかったた め	あなた自身 または親族 の介護のた め	子育て環境 教育環境を 変えるため	東京都、東 京圏での就 職、就学を 希望してい たが、希望 が叶わな かったため	求職減、失 職または収 入減のため	現在及び将 来の災害や 感染症等の リスクを回 避するため	在宅勤務が 可能となっ たことで、通 勤する必要 がなくなっ たまたは機 会が減った ため	地方圏から 都市圏への 交通アクセ スが改善し たため	オンライン 授業が導入 されたこと で、通学す る必要がな くなったまた は機会が 減ったため	通信環境 (ネットの繋 がり具合) が地方圏で も充実した ため	職業上また は学業上の 自己の意思 と関係ない 事情により 移住するこ とになった ため	上記に当て はまるもの はない
5.8	6.7	6.9	4.9	4.0	7.4	9.5	5.3	2.3	2.5	2.6	0.0	16.5
7.1	6.6	6.3	4.8	4.8	4.0	3.3	2.6	2.3	2.2	1.9	0.0	19.8
-1.3	0.1	0.6	0.1	-0.8	3.4	6.2	2.7	0.0	0.3	0.7	0.0	-3.3

## 移住時における自身の身の回りの変化(Q11)

- ◆身の回りの変化では、「自身が転職した」(16.0%)、「自身が転職した」(14.9%)、「自身が就職した」(13.7%)が高い。

### Q11 自身の身の回りの変化

(%)

	n=	自身が転職 (人事異動 等)、職場が 再編(部署ご とオフィスが 移動、合併、 分割等)した	自身が転職 した(起業、 独立等を含 む)	自身が就職 した	自身が離職 した(定年退 職、若しくは 退職当時、再 就職の予定 なしまたは再 就職先が決 まっていない 離職)	自身が結婚 した	自身が進学 した	自身が出産 した
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外へ の移住者	1814	14.9	16.0	13.7	13.3	7.7	6.1	2.4
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外へ の移住者	4373	14.6	17.5	15.2	13.7	9.8	5.4	2.1
※東京圏の コロナ前後の 差異		0.3	-1.5	-1.5	-0.4	-2.1	0.7	0.3

(%)

自身が離婚 した	コロナの影響 (感染不安 等)	家族等の死 別	同居していな い家族が亡く なった	上記にあて はまるものは ない
0.4	0.7	0.1	0.0	36.1
0.6	0.1	0.2	0.0	33.0
-0.2	0.6	-0.1	0.0	3.1

## 移住先との関係(Q13)

- ◆移住先との関係では、「自身の出身地であった」(41.8%)、「親族、同居人の出身地であった」(14.4%)、「訪問したことがあった」(10.7%)、「関わったことはなかった」(17.3%)が高い。コロナ禍では「自身の出身地であった」(+6.2%ポイント)が増加している。

Q13 移住先との関係

		(%)						
n=		自身の出身地であった	自身の出身地ではないが親族、同居人の出身地であった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、自身が同都道府県内または近郊に居住した経験があった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、親族、同居人が同都道府県内または近郊に居住した経験があった(自身は居住経験なし)	自身が仕事・観光等で訪問したことがあった	その他の機会に関わったことがあった	関わったことはなかった
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	41.8	14.4	8.0	4.0	10.7	3.7	17.3
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	35.6	15.5	8.8	5.6	9.9	5.0	19.6
※東京圏の コロナ前後の 差異		6.2	-1.1	-0.8	-1.6	0.8	-1.3	-2.3

## 現在の東京圏に戻る予定(Q15)

- ◆現在の東京圏に戻る予定では、「ない」が51.2%、「戻ることが確定」「いずれ戻る予定がある」が合わせて24.8% (=9.2%+15.6%)、「わからない」が24.0%。

### Q15 現在の東京圏へ戻る予定

		(%)			
n=		戻ることがほぼ確定している	いずれ戻る予定がある	戻る予定はない	わからない
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1602	9.2	15.6	51.2	24.0
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	3672	6.9	16.2	51.5	25.3
※東京圏のコロナ前後の差異		2.3	-0.6	-0.3	-1.3

(注) サンプル数は、全数から現時点で東京圏に戻ったものを除いている。

## 移住時に不足していたと感じた情報(Q16)

- ◆移住に当たり不足していたと感じた情報では、「仕事、求職の情報」(34.1%)、「交通網、交通手段に関する情報」(20.6%)、「住居の情報」(18.9%)が高い。コロナ禍では「仕事、求職の情報」(+3.0%ポイント)、「日用品、生活必需品の購入の場所の情報」(2.8%ポイント)が増加している。

### Q16 東京圏外の地域へ移住した際に、不足していたと感じた情報

(%)

	n=	仕事、求職の情報	交通網、交通手段に関する情報	住居の情報	病院等の医療施設の情報	町内会のルール等(ゴミ出しのルール等)の地域コミュニティの情報	余暇を過ごす場所、レジャー施設等の情報	日用品、生活必需品の購入の場所の情報
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	34.1	20.6	18.9	18.3	18.4	15.8	14.4
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	31.1	22.0	20.8	18.1	16.6	16.8	11.6
※東京圏のコロナ前後の差異		3.0	-1.4	-1.9	0.2	1.8	-1.0	2.8

(%)

子育て支援に関する情報	保育所、幼稚園、小学校等の教育施設の情報	先輩移住者の成功談・失敗談に関する情報	天候、気候に関する情報	上記に当てはまるものはない
9.3	8.8	9.0	8.7	33.0
9.4	8.6	7.8	8.3	33.1
-0.1	0.2	1.2	0.4	-0.1

## 新型コロナウイルス感染症拡大をうけ、東京圏外で暮らすことへの考えの変化 (Q17)

- ◆新型コロナウイルス感染症拡大をうけての東京圏外で暮らすことへの考え方の変化では、「東京圏外での暮らしを望むようになった」「どちらかといえば東京圏外での暮らしを望むようになった」(39.1% = 22.5% + 16.6%)、「変わらなかった」(40.1%)が高い。コロナ禍では「東京圏外での暮らしを望むようになった」「どちらかといえば東京圏外での暮らしを望むようになった」(+4.9%ポイント = 3.8%ポイント + 1.1%ポイント)が増加している。

### Q17 新型コロナウイルス感染症拡大をうけて、東京圏以外で暮らすことへの考えの変化

	n=	東京都、東京圏での暮らしをより望むようになった、または暮らし続けたいと思った	どちらかといえば東京都、東京圏での暮らしをより望むようになったまたは暮らし続けたと思うようになった	特に考えは変わらなかった	どちらかといえば東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、またはどちらかといえば暮らし続けたいと思った	東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、または暮らし続けたいと思った
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	12.1	8.7	40.1	16.6	22.5
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	7.4	11.2	47.2	15.5	18.7
※東京圏のコロナ前後の差異		4.7	-2.5	-7.1	1.1	3.8

## 居住するのに最も理想的な地域(Q18)

- ◆理想的な居住地では、「地方の政令指定都市」(20.6%)「東京都区部」(18.9%)「地方の中核市・県庁所在地」(15.4%)「東京都区部、大阪市、名古屋市に通学・通勤可能な距離にある市町村」(15.0%)「地方の政令指定都市・中核市・県庁所在地に通勤可能な距離にある市町村」(14.2%)が高く、「都市から離れた農山漁村地域」(8.7%)は低い。コロナ禍では「東京都区部」(+3.9%※)が増加している。

Q18 居住するのに最も理想的な地域

		(%)						
		東京都区部	大阪市、名古屋市 市内	東京都区部、 大阪市、名古屋 市に通学、 通勤可能な 距離にある市 町村	地方の政令 指定都市	地方の中核 市、県庁所 在地(政令指 定都市では ない)及びそ れらと同規 模の市	地方の政令 指定都市、 中核市、県 庁所在地及 びそれらと 同規模の市 に通学、 通勤可能な 距離にある 市町村	都市から離 れた農山漁 村地域
	n=							
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	18.9	7.2	15.0	20.6	15.4	14.2	8.7
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	15.0	6.7	15.8	23.3	16.3	15.8	7.1
※東京圏の コロナ前後の 差異		3.9	0.5	-0.8	-2.7	-0.9	-1.6	1.6

地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降感じたり、見聞きしたこと(Q19)

- ◆コロナ禍の地方圏のイメージでは、「人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」(24.5%)、「やりがいのある仕事が多くなった」(23.2%)、「生活環境が良くなって住みやすくなっている」(19.7%)が高い。コロナ禍では「やりがいのある仕事が多くなった」(+4.7%<sup>※</sup>)が増加している。

Q19 地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと

(%)

	n=	地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる	地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	地方圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	地方圏で働き続けられる機会が減った	地方圏に本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	24.5	19.7	23.2	11.6	12.2	8.8
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	22.8	19.4	18.5	13.1	13.1	10.2
※東京圏のコロナ前後の差分		1.7	0.3	4.7	-1.5	-0.9	-1.4

(%)

	地方圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある	東京圏を離れ地方圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった	地方圏に情報通信など成長している企業が進出している	地方圏の企業で採用が増えている	地方圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	地方圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない
	12.2	11.5	8.9	10.3	6.9	4.3	31.2
	10.9	9.1	8.7	8.1	8.0	5.0	33.2
	1.3	2.4	0.2	2.2	-1.1	-0.7	-2.0

東京圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降感じたり、見聞きしたこと(Q20)

- ◆コロナ禍の東京圏のイメージでは、「人・モノ・情報が集中しているため、豊かな生活ができる」(19.6%)、「やりがいのある仕事が多くなった」(19.2%)、「働き続けられる機会が減った」(16.7%)が高い。コロナ禍では「やりがいのある仕事が多くなった」(+5.3%ポイント)が増加している。

**Q20 東京圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと**

n=		東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる	東京圏で働き続けられる機会が減った	東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	東京圏は情報通信など成長している企業が集中している	東京圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある	東京圏は本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている	東京圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	(%)
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	19.6	16.7	19.2	12.8	11.9	10.5	9.5	9.5	
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	19.6	14.8	13.9	11.9	11.8	10.9	10.0	10.6	
※東京圏のコロナ前後の差異		0.0	1.9	5.3	0.9	0.1	-0.4	-0.5	-1.1	

東京圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏を離れて東京圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった	東京圏の企業で地方圏からの採用が増えている	東京圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない	(%)
9.6	8.3	6.8	6.5	37.9	
8.6	8.5	7.1	5.6	40.9	
1.0	-0.2	-0.3	0.9	-3.0	

## 移住時、移住後に利用した公共サービス等(Q21)

- ◆移住する際に利用した公共サービスでは、「移住支援金制度」(14.5%)、「移住先に所在する移住相談窓口」(9.6%)、「東京圏に所在する移住相談窓口」(9.6%)が高い。コロナ禍では「移住支援金制度」(+4.1%<sub>※</sub>)、「東京圏に所在する移住相談窓口」(+2.3%<sub>※</sub>)が増加している。

Q21 移住時、移住後に利用した公共サービス等

n=		(%)										
		国または自治体による移住支援金制度	家賃補助	移住先に所在する移住相談窓口	地元企業への就職・就業支援	東京圏に所在する移住相談窓口	土地・住宅購入補助	国または自治体による起業支援金制度	空き家バンク	農林水産業への就業支援	結婚または出産に係る祝い金・祝い品(健康保険の出産育児一時金を除く)	
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1814	14.5	8.5	9.6	7.6	9.6	5.9	7.1	5.2	5.2	3.0	
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	4373	10.4	9.5	9.5	8.1	7.3	5.9	6.4	4.8	4.5	3.8	
※東京圏の コロナ前後の 差異		4.1	-1.0	0.1	-0.5	2.3	0.0	0.7	0.4	0.7	-0.8	

(%)						
空き家改修経費の補助	移住関連イベント	サテライトオフィス・コワーキングスペース	移住モニターツアー	移住体験住宅	その他 具体的に:	当てはまるものはない
3.0	3.1	2.8	2.9	2.2	0.2	60.6
2.8	2.8	2.2	2.9	2.8	0.3	62.1
0.2	0.3	0.6	0.0	-0.6	-0.1	-1.5

## 現在の在宅勤務制度の有無、利用頻度(Q23)

- ◆在宅勤務制度の有無と利用頻度では、「制度があり、ほぼ毎日利用」(17.6%)、「制度があり、週に2～3日程度利用」(16.5%)、「ない」(39.9%)が高い。コロナ禍では「制度があり、ほぼ毎日利用」(+8.9%ポイント)が増加し、「ない」(-6.5%ポイント)が低下している。

Q23 在宅勤務の有無と利用頻度

(%)

	n=	在宅勤務制度があり、ほぼ毎日利用している	在宅勤務制度があり、週に2～3日程度利用している	在宅勤務制度があり、週に1日程度利用している	在宅勤務制度はあるが、月に数回程度しか利用していない	在宅勤務制度はあるが、利用したことはない	勤務する企業に在宅勤務制度がない、または在宅勤務制度を適用できる職種ではない
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外への移住者	1222	17.6	16.5	8.3	8.6	9.1	39.9
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外への移住者	3102	8.7	15.5	10.1	9.0	10.3	46.4
東京圏の コロナ前後の 差異		8.9	1.0	-1.8	-0.4	-1.2	-6.5

(注) サンプル数は、全数から「現在の仕事」について「自営業・フリーランス」、「有給の仕事はしていない」、「その他」と回答した者を除いて、雇用者のみを対象にしている。

## 新型コロナウイルス感染リスク収束後の在宅勤務の継続希望(Q24)

- ◆コロナ収束後の在宅勤務制度の利用の希望では、「在宅勤務を続けたい」(53.5%)、「日数を減らして在宅勤務を続けたい」(27.3%)が高い。コロナ禍では「在宅勤務を続けたい」(+14.6%ポイント)が増加し、「日数を減らして在宅勤務を続けたい」(-11.7%ポイント)が低下している。

Q24 新型コロナウイルス感染リスク収束後の在宅勤務継続希望

		(%)			
	n=	在宅勤務を 続けたい	日数を減らし て在宅勤務 を続けたい	従来の上社 を中心とした 勤務形態に 戻りたい	わからない
(コロナ禍) 東京圏からの東京圏外へ の移住者	623	53.5	27.3	14.3	5.0
(コロナ禍以前) 東京圏からの東京圏外へ の移住者	1343	38.9	39.0	16.2	6.0
※東京圏の コロナ前後の 差異		14.6	-11.7	-1.9	-1.0

(注) サンプル数は、「現在の在宅勤務の有無」に係る回答者のうち、在宅勤務制度の利用者数のみを対象にしている。

## 2. 東京圏から東京圏外への移住の状況 (コロナ禍の状況における男女の相違)

## 2. 東京圏から東京圏外への移住者の男女別の特色：男女の傾向は類似のものも多いが、女性の回答には、同居人の意思や家庭の事情に配慮したものが高い傾向がある。

今回の回答者の属性では、女性は、男性より「20代、30代が多い」、「正規職員の割合が低い」、「非正規職員の割合が高い」、「専業主夫・主婦が多い」。

- 移住の意思では、女性は、男性より「同居人の意思」が高い（29%対13%）。
- 移住の要因では、女性は、男性より「同居人の移住に同行するため」、「同居していない親族と同居するため」がやや高い。
- 自身の身の回りの変化では、女性は、男性より「自身が結婚した」、「自身が出産した」が高い。
- 同居人の身の回りの変化では、女性は、男性より「同居人が転勤した」、「同居人が転職した」が高い。
- 移住に当たり不足していると感じた情報では、女性は、男性とほぼ同様の傾向であるが、女性は、男性より「交通網、交通手段に関する情報」、「子育て支援に関する情報」、「教育施設に関する情報」がやや高い。
- 新型コロナウイルス感染症拡大をうけての東京圏で暮らすことへの考え方の変化では、上位の3項目は男女で同じであるが、女性は、男性より「どちらかといえば東京圏外での暮らしを望むようになった」がやや高い。
- コロナ禍の地方圏のイメージでは、上位の3項目は男女で同じであるが、女性は、男性より「保育や医療・介護などのニーズが高まっている」がやや高く、「やりがいのある仕事が多くなった」、「地方圏の企業で採用が増えている」が低い。

## 自身または世帯員の意思に基づく移住か (Q9)

- ◆ 移住の意思では、女性は、男性より「自身の意思」(71.0%対86.8%) が低く、「世帯員の意思」(29.0%対13.2%) が高い。

### Q9 自身または世帯員の 意思に基づく移住

		(%)			
		n=	移住はあなた自身の意思に基づくものであった	移住は世帯員の意思に基づくものであった	移住はあなた自身及び世帯員の意思に基づくものでなかった (例:会社による強制力のある辞令等)
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	TOTAL	1131	80.0	20.0	0.0
	男性	609	86.8	13.2	0.0
	女性	522	71.0	29.0	0.0
男女の差異 (男-女)			15.8	-15.8	0.0

(注) サンプル数は、全数から「移住前の同居していた世帯の構成員」の問いに「回答者自身のみ」と回答した者を除いて、移住前に同居者がいた回答者のみを対象にしている。

## 移住した要因(Q10)

- ◆ 移住した要因では、女性は、男性より「同居人の移住に同行するため」(8.3%対3.4%)、「同居していない親族と同居するため」(13.9%対9.3%)がやや高い。男性の上位3項目である「通勤・通学環境を変えるため」(15.6%対24.8%)、「労働環境を変えるため」(10.1%対17.7%)、「移住先に希望する仕事・職場等があったため」(13.4%対19.9%)とともに、「職業上の地位等に満足していなかったため」(3.4%対9.1%)が低い。

Q10 移住した要因

(%)

n=			通勤・通学環境(長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等)を変えるため	移住先の地域に希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため	労働環境(長時間労働、激務等)を変えるため	地元または慣れ親しんだ地域(居住、訪問経験あり)で暮らすため	同居していない親族と同居、近居するため	山や海などの自然環境の豊かな環境下で生活するため	東京都、東京圏より人が少なく、静かな環境下で生活するため	あなた自身または同居の親族、同居人の健康上の理由のため	職務上の地位、身分、賃金、やりがいに満足していなかったため	あなた自身または親族の介護のため	家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への 移住者	TOTAL	1814	20.8	17.1	14.4	12.5	11.3	11.4	10.9	5.8	6.7	6.9	6.9
	男性	1031	24.8	19.9	17.7	11.8	9.3	13.0	12.4	6.5	9.1	8.0	7.4
	女性	783	15.6	13.4	10.1	13.4	13.9	9.2	8.8	4.9	3.4	5.6	6.4
男女の差異 (男-女)			9.2	6.5	7.6	-1.6	-4.6	3.8	3.6	1.6	5.7	2.4	1.0

# 移住した要因(Q10) (続き)

## Q10 移住した要因

(%)

広い居住空間を得るため	同居の親族、同居人の移住に同行するため(同居の親族、同居人だけに該当する理由による移住に同行するもの)	現在及び将来の災害や感染症等のリスクを回避するため	求職減、失職または収入減のため	子育て環境、教育環境を変えるため	東京都、東京圏での就職、就学を希望していたが、希望が叶わなかったため	在宅勤務が可能となったことで、通勤する必要がなくなったまたは機会が減ったため	オンライン授業が導入されたことで、通学する必要がなくなったまたは機会が減ったため	地方圏から都市圏への交通アクセスが改善したため	通信環境(ネットの繋がり具合)が地方圏でも充実したため	職務上または学業上の自己の意思と関係ない事情により移住することになったため	上記に当てはまるものはない
7.3	5.5	9.5	7.4	4.9	4.0	5.3	2.5	2.3	2.6	0.0	16.5
7.0	3.4	10.6	7.9	3.7	4.5	6.5	3.2	2.8	3.6	0.0	13.1
7.7	8.3	8.2	6.8	6.5	3.4	3.8	1.5	1.7	1.4	0.0	20.9
-0.7	-4.9	2.4	1.1	-2.8	1.1	2.7	1.7	1.1	2.2	0.0	-7.8

## 自身の身の回りの変化(Q11)

- ◆ 自身の身の回りに関する変化では、女性は、男性より「自身が結婚した」(13.9%対2.9%)、「自身が出産した」(5.5%対0.0%)が高く、「自身が転職した」(10.7%対20.1%)、「自身が転勤した」(8.4%対19.8%)が低い。

Q11 移住のタイミングと重なる、自身の身の回りに関する変化

			n=							(%)
			自身が転職した(起業、独立等を含む)	自身が就職した	自身が転勤(人事異動等)、職場が再編(部署ごとオフィスが移動、合併、分割等)した	自身が離職した(定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なしまたは再就職先が決まっていない離職)	自身が結婚した	自身が進学した	自身が出産した	
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	TOTAL	1814	16.0	13.7	14.9	13.3	7.7	6.1	2.4	
	男性	1031	20.1	14.9	19.8	14.4	2.9	7.4	0.0	
	女性	783	10.7	12.1	8.4	11.9	13.9	4.5	5.5	
男女の差異(男-女)			9.4	2.8	11.4	2.5	-11.0	2.9	-5.5	

					(%)
自身が離婚した	コロナの影響(感染不安等)	家族等の死別	同居していない家族が亡くなった	上記にあてはまるものはない	
0.4	0.7	0.1	0.0	36.1	
0.1	1.0	0.0	0.0	31.1	
0.9	0.4	0.1	0.0	42.5	
-0.8	0.6	-0.1	0.0	-11.4	

## 同居者の身の回りの変化(Q12)

- ◆ 同居者の身の回りの変化では、女性は、男性より「同居人が転勤した」(14.0%対7.2%)、「同居人が転職した」(10.9%対7.7%)が高く、「同居人が就学、進学した」(10.3%対14.6%)、「同居人が就職した」(5.2%対10.3%)が低い。

### Q12 移住のタイミングと重なる、同居の親族、同居者の身の回りに関する変化

n=			同居の親族、同居人が転勤(人事異動等)勤務先が再編した(部署ごとオフィス転出、部署の合併、分割等)	同居の親族、同居人が就学、進学した	同居の親族、同居人が転職した(起業、独立等を含む)	同居の親族、同居人が就職した	同居の親族、同居人が離職した(定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なしまたは再就職先が決まっていな離職)	(%)
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	TOTAL	1131	10.3	12.6	9.2	8.0	7.9	
	男性	609	7.2	14.6	7.7	10.3	7.1	
	女性	522	14.0	10.3	10.9	5.2	8.8	
男女の差異(男-女)			-6.8	4.3	-3.2	5.1	-1.7	

同居の親族または同居人が結婚した	同居の親族または同居人が出産した	同居の親族または同居人が亡くなった	同居の親族、同居人が離婚した	コロナの影響(感染不安等)	上記にあてはまるものはない	(%)
2.3	1.9	0.1	0.0	0.4	58.7	
3.0	2.3	0.2	0.0	0.5	62.7	
1.5	1.3	0.0	0.0	0.2	54.0	
1.5	1.0	0.2	0.0	0.3	8.7	

## 東京圏外へ移住する際に不足していた情報(Q16)

- ◆ 移住に当たり不足していたと感じた情報では、女性は、男性とほぼ同様の傾向であるが、女性は、男性より「交通網、交通手段に関する情報」(22.1%対19.4%)、「子育て支援に関する情報」(10.7%対8.1%)、「教育施設に関する情報」(10.5%対7.6%) がやや高い。

Q16 東京圏外の地域に移住した際に、不足していたと感じた情報

(%)

		n=	仕事、求職 の情報	交通網、交 通手段に関 する情報	住居の情報	病院等の医 療施設の情 報	町内会の ルール等(ゴ ミ出しのル ール等)の地域 コミュニティ の情報	余暇を過ご す場所、レ ジャー施設 等の情報	日用品、生 活必需品の 購入の場所 の情報
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	TOTAL	1814	34.1	20.6	18.9	18.3	18.4	15.8	14.4
	男性	1031	33.2	19.4	19.8	17.6	18.8	14.8	14.1
	女性	783	35.4	22.1	17.8	19.3	17.9	17.1	14.8
男女の差異 (男-女)			-2.2	-2.7	2.0	-1.7	0.9	-2.3	-0.7

(%)

子育て支援に 関する情報	保育所、幼稚 園、小学校等 の教育施設 の情報	天候、気候に 関する情報	先輩移住者 の成功談・失 敗談に関する 情報	上記に当ては まるものはな い
9.3	8.8	8.7	9.0	33.0
8.1	7.6	9.3	8.5	33.7
10.7	10.5	7.8	9.6	32.1
-2.6	-2.9	1.5	-1.1	1.6

## 東京圏以外で暮らすことへの考えの変化 (Q17)

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大をうけての東京圏で暮らすことへの考え方の変化では、上位の3項目は男女で同じであるが、女性は、男性より「どちらかといえば東京圏外での暮らしを望むようになった」(19.2%対14.6%)がやや高い。

### Q17 新型コロナウイルス感染症拡大をうけて、東京圏以外で暮らすことへの考えの変化

			(%)				
			東京都、東京圏での暮らしをより望むようになった、または暮らし続けたいと思うようになった	どちらかといえば東京都、東京圏での暮らしをより望むようになったまたは暮らし続けたいと思うようになった	特に考えは変わらなかった	どちらかといえば東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、またはどちらかといえば暮らし続けたいと思うようになった	東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、または暮らし続けたいと思うようになった
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	TOTAL	n=1814	12.1	8.7	40.1	16.6	22.5
	男性	1031	13.7	8.6	39.2	14.6	23.9
	女性	783	10.0	8.7	41.4	19.2	20.8
	男女の差異 (男-女)		3.7	-0.1	-2.2	-4.6	3.1

地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと(Q19)

- ◆ コロナ禍の地方圏のイメージでは、上位の3項目は男女で同じであるが、女性は、男性より「保育や医療・介護などのニーズが高まっている」(13.9%対9.8%) がやや高く、「やりがいのある仕事が多くなった」(16.6%対28.1%)、「地方圏の企業で採用が増えている」(7.0%対12.8%) が低い。

Q19 地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと

(%)

		n=	地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる	地方圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏で働き続けられる機会が減った	地方圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	地方圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある	東京圏を離れ地方圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	TOTAL	1814	24.5	23.2	19.7	12.2	11.6	12.2	11.5
	男性	1031	24.3	28.1	19.7	13.0	9.8	14.0	13.3
	女性	783	24.6	16.6	19.7	11.1	13.9	9.8	9.1
男女の差異 (男-女)			-0.3	11.5	0.0	1.9	-4.1	4.2	4.2

(%)

地方圏に本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている	地方圏に情報通信など成長している企業が進出している	地方圏の企業で採用が増えている	地方圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	地方圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない
8.8	8.9	10.3	6.9	4.3	31.2
10.3	10.9	12.8	8.1	5.3	27.9
6.8	6.3	7.0	5.5	2.9	35.5
3.5	4.6	5.8	2.6	2.4	-7.6

### 3. まとめと今後の課題

## (1) アンケート調査のまとめ

今回の調査を通じて以下のような点が確認された。

- 世帯を伴って移住する傾向や自己所有の住居の割合が高まっている。また、自身の出身地への移住割合が高まっている。
- 通勤・通学等の生活環境や労働環境の改善や、感染症リスクの回避等を目的として、東京圏外の暮らしを望む傾向に高まりがみられる。
- 地方圏のイメージでは、生活面の評価（人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる、生活環境が良くなって住みやすくなっている）とともに、仕事面の評価（やりがいのある仕事が多くなった）も高くなっている。
- テレワーク等の在宅勤務実施率が増加しており、テレワーク実施率、利用頻度の向上が、地方への移住者において確認される。また、在宅勤務を継続したいとの希望が強い。
- 移住に当たり不足していたと感じた情報では、仕事・求職の情報、交通網・交通手段に関する情報、住居の情報が高い。
- 移住支援金制度や相談窓口など、国・自治体を実施する移住施策が利用されており、さらに仕事や交通手段、住居に関するきめ細やかな情報の発信が重要と考えられる。
- 男女の傾向は類似のものも多いが、女性の回答には、同居人の意思や家庭の事情に配慮したものが高い傾向がある。

## (2) 今後の課題

東京圏への一極集中の克服は、人口の減少や高齢化が続く日本において重要な課題であり、実態の把握は不可欠である。今回の調査を通じた課題として以下のような点に留意しつつ、引き続き、地方への人の流れを創出するための情報の確保に努めていきたい。

- 調査期間が短く、サンプルに偏りがある可能性がある。
- サンプル数が十分でないことから、年齢別の分析までには至らなかった。
- 移住者の属性を十分把握できなかった。例えば、移住前後の婚姻の有無、職業、就業の状況、家庭内における立場などを十分聴取していなかった。
- 移住者の定義を「転出は回答者又は世帯員の意思に基づくもの」としたが、これで適切かを再検討する必要がある。「転出時に東京圏に戻ることがほぼ確定していた」が18%程度存在しており、どのような状況であったのかをさらに深掘して聴取する必要がある。
- 分析を継続するとして、今後の移住の期間をどのように区切るのが適切か、さらに、今回のデータと比較することは可能かを検討する必要がある。例えば、意識については、移住時点だけではなく、調査時点（2021年7月）の意識を聞いている設問が複数みられる。

(参考) 東京都からの移住者の特色

## 参考1. 「東京都から東京圏外への移住」と「東京圏から東京圏外への移住」の状況

コロナ禍の状況を比較すると、両者の傾向には、ほとんど相違はない

- コロナ禍の状況を比較すると、両者の傾向には、ほとんど相違はない。相違がみられたのは、①同居者との関係では、東京都は、東京圏より「同居者を伴う移住」が高い、②移住先との関係では、東京都は、東京圏より「自身の出身地であった」が高い、③理想的な居住地では、東京都は、東京圏外より「東京都区部」が高い。移住後の居住形態では、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 移住の要因では、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 身の回りの変化では、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 現在の東京圏に戻る予定では、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 移住に当たり不足していると感じた情報では、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 新型コロナウイルス感染症拡大をうけての東京圏外で暮らすことへの考え方の変化では、東京圏とほぼ同様の傾向。
- コロナ禍の東京圏のイメージでは、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 移住する際に利用した公共サービスでは、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- 在宅勤務制度の有無と利用頻度では、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。
- コロナ収束後の在宅勤務制度の利用の希望では、東京都は、東京圏とほぼ同様の傾向。

## 同居者との関係 (Q7)

- ◆ 同居者との関係では、東京都は、東京圏より「同居者を伴う移住」(80.9%対71.5%)が高い。

**Q7 同居者を伴う移住**

	n=	全員または一部の世帯構 成員がともに移住	誰も伴わない移住
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	554	80.9	19.1
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	1131	71.5	28.5
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	994	75.5	24.5
(コロナ禍以前) 東京圏から東京圏外への移住者	2684	67.9	32.1
※コロナ禍の東京都と 東京圏の差異		9.4	-9.4

## 移住先との関係(Q13)

- ◆ 移住先との関係では、東京都は、東京圏より「自身の出身地であった」（47.0%対41.8%）が高い。

Q13 移住先との関係性

		(%)						
	n=	自身の出身地であった	自身の出身地ではないが、親族、同居人の出身地であった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、自身が同都道府県内または近郊に居住した経験があった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、親族、同居人が同都道府県内または近郊に居住した経験があった（自身は居住経験なし）	自身が仕事・観光等で訪問したことがあった	その他の機会に関わったことがあった	関わったことはなかった
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	47.0	15.1	7.6	3.7	9.6	2.6	14.4
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	1814	41.8	14.4	8.0	4.0	10.7	3.7	17.3
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	42.1	15.8	9.3	5.5	8.6	3.8	14.9
(コロナ禍以前) 東京圏から東京圏外への移住者	4373	35.6	15.5	8.8	5.6	9.9	5.0	19.6
コロナ禍の東京都と東京圏の差異		5.2	0.7	-0.4	-0.3	-1.1	-1.1	-2.9

## 居住するのに最も理想的な地域(Q18)

- ◆ 居住するのに最も理想的な地域では、東京都は、東京圏外より「東京都区部」（24.8%対18.9%）が高い。

Q18 居住するのに最も理想的な地域

		(%)						
n=		東京都区部	大阪市、名古屋市内	東京都区部、大阪市、名古屋市に通学、通勤可能な距離にある市町村	地方の政令指定都市	地方の中核市、県庁所在地（政令指定都市ではない）及びそれらと同規模の市	地方の政令指定都市、中核市、県庁所在地及びそれらと同規模の市に通学、通勤可能な距離にある市町村	都市から離れた農山漁村地域
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	24.8	9.6	14.3	19.9	13.7	10.4	7.3
(コロナ禍) 東京圏から東京圏外への移住者	1814	18.9	7.2	15.0	20.6	15.4	14.2	8.7
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	21.4	8.5	12.7	22.9	14.8	13.3	6.3
(コロナ禍以前) 東京圏から東京圏外への移住者	4373	15.0	6.7	15.8	23.3	16.3	15.8	7.1
※コロナ禍の東京都と東京圏の差異		5.9	2.4	-0.7	-0.7	-1.7	-3.8	-1.4

## 参考2. 「東京都から東京圏外への移住」と「東京都から3県(神奈川・千葉・埼玉)への移住」の状況

「東京都から東京圏外への移住」と「東京都から3県への移住」との比較：「東京都から3県への移住」は本格的な移住というより、近場での引越しという要素（「広い空間を得るため」、「生活費を抑えるため」、「自身の結婚」、「東京都区部への愛着の強さ」など）が強い。

- 同居者との関係では、3県は、東京圏外より「同居者を伴う移住」が低い。
- 移住後の居住形態では、3県は、東京圏外より「親族の家に居住」が低い。
- 移住の要因では、3県は、東京圏外より「広い居住空間を得るため」、「生活費を抑えるため」が高い。
- 身の回りの変化では、3県は、東京圏外より「自身が結婚した」が高く、「自身が転職した」、「自身が転勤した」が低い。
- 移住先との関係では、3県は、東京圏外より「自身の出身地であった」が低い。
- 移住に当たり不足していたと感じた情報では、3県は、東京圏外より総じて低い。
- 居住するのに最も理想的な地域では、3県は、東京圏外より「東京都区部」、「東京都区部等に通学・通勤可能な市町村」が高い。
- 移住する際に利用した公共サービスでは、3県は、東京圏外より総じて低い。
- コロナ収束後の在宅勤務制度の利用の希望では、3県は、東京圏外より「在宅勤務を続けたい」が高い。

## 同居者との関係(Q7)

◆同居者との関係では、3県は、東京圏外より「同居者を伴う移住」（73.8%対80.9%）が低い。

**Q7 同居者を伴う移住** (%)

	n=	全員または一部の世帯構 成員がともに移住	誰も伴わない移住
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	554	80.9	19.1
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	393	73.8	26.2
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	994	75.5	24.5
(コロナ禍以前) 東京都から3県への外移住者	853	70.8	29.2
※コロナ禍の東京圏外 と3県の差異		-7.1	7.1

(注) サンプル数は、全数から「移住前の同居していた世帯の構成員」の問いに「回答者自身のみ」と回答した者を除いて、移住前に同居者がいた回答者のみを対象にしている。

## 移住後の居住形態(Q8)

- ◆移住後の居住形態では、3県は、東京圏外より「賃貸住宅・マンションに居住」（57.6%対50.3%）と高く、「親族の家に居住」（3.8%対10.3%）が低い。

Q8 移住後の居住形態

		(%)					
	n=	賃貸住宅、賃貸マンションに居住	持ち家、所有のマンションに居住	親族の家(自宅を含む)に居住	知人の家に居住	社宅に居住	その他 具体的に:
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	50.3	32.3	10.3	0.8	5.6	0.8
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	608	57.6	33.2	3.8	0.8	3.8	0.8
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	54.0	28.5	10.1	0.8	6.1	0.5
(コロナ禍以前) 東京都から3県への移住者	1348	58.5	31.9	5.0	0.5	3.1	1.0
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		7.3	0.9	-6.5	0.0	-1.8	0.0

## 移住した要因(Q10)

- ◆ 移住の要因では、3県は、東京圏外より「広い居住空間を得るため」(24.5%対8.0%)、「生活費を抑えるため」(16.0%対7.0%)が高い。

Q10 移住した要因(抜粋)

		(%)						
n=		通勤・通学環境(長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等)を変えるため	移住先の地域に希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため	広い居住空間を得るため	労働環境(長時間労働、激務等)を変えるため	東京都、東京圏より人が少なく、静かな環境下で生活するため	同居していない親族と同居近居するため	家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	25.1	17.1	8.0	16.9	14.0	12.1	7.0
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	608	20.4	8.1	24.5	7.2	16.3	11.2	16.0
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	17.2	16.8	6.6	14.8	10.0	10.5	6.9
(コロナ禍以前) 東京都から3県への移住者	1348	21.4	9.1	18.0	7.4	9.5	10.1	13.4
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		-4.7	-9.0	16.5	-9.7	2.3	-0.9	9.0

(%)			
地元または慣れ親しんだ地域(居住、訪問経験あり)で暮らすため	山や海などの自然環境の豊かな環境下で生活するため	子育て環境、教育環境を変えるため	あなた自身または同居の親族、同居人の健康上の理由のため
13.7	11.2	5.6	5.2
7.2	6.4	9.5	4.6
13.2	9.8	5.4	7.9
3.9	5.0	7.9	5.5
-6.5	-4.8	3.9	-0.6

## 移住時における自身の身の回りの変化(Q11)

- ◆身の回りの変化では、3県は、東京圏外より「自身が結婚した」（16.6%対6.6%）が高く、「自身が転職した」（8.1%対17.3%）、「自身が転職した」（8.6%対19.2%）が低い。

### Q11 移住したタイミングと重なる、自身の身の回りに関する変化

		(%)								
n=		自身が転職した(起業、独立等を含む)	自身が転職した(人事異動等)、職場が再編(部署ごとオフィスが移動、合併、分割等)した	自身が結婚した	自身が就職した	自身が離職した(定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なしまたは再就職先が決まっていない離職)	自身が進学した	自身が出産した	その他 具体的に:	上記に当てはまるものはない
(コロナ禍)	923	17.3	19.2	6.6	13.5	13.3	8.0	2.1	3.1	32.0
(コロナ禍)	608	8.1	8.6	16.6	7.4	7.7	4.4	3.6	3.8	49.0
(コロナ禍以前)	1766	18.2	15.5	8.8	15.2	14.8	5.5	2.0	3.4	29.2
(コロナ禍以前)	1348	10.0	7.9	20.0	9.2	7.2	3.0	3.3	3.6	46.4
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		-9.2	-10.6	10.0	-6.1	-5.6	-3.6	1.5	17.0	0.7

## 移住先との関係性(Q13)

◆移住先との関係では、3県は、東京圏外より「自身の出身地であった」（15.8%対47.0%）が低い。

### Q13 移住先との関係性

		(%)						
	n=	自身の出身地であった	自身の出身地ではないが親族、同居人の出身地であった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、自身が同都道府県内または近郊に住居した経験があった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、親族、同居人が同都道府県内または近郊に住居した経験があった（自身は居住経験なし）	自身が仕事・観光等で訪問したことがあった	その他の機会に関わったことがあった	関わったことはなかった
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	47.0	15.1	7.6	3.7	9.6	2.6	14.4
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	608	15.8	13.8	11.2	8.6	8.7	6.7	35.2
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	42.1	15.8	9.3	5.5	8.6	3.8	14.9
(コロナ禍以前) 東京都から3県への移住者	1348	14.8	12.8	12.0	7.3	7.9	7.1	38.1
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		-31.2	-1.3	3.6	4.9	-0.9	4.1	20.8

## 移住時に不足していたと感じた情報(Q16)

- ◆ 移住に当たり不足していたと感じた情報では、3県は、東京圏外より総じて低い。特に、「仕事、求職の情報」(17.8%対38.0%)、「交通網、交通手段に関する情報」(15.8%対21.8%)、「住居の情報」(12.3%対19.9%)が低い。

### Q16 東京圏外の地域に移住した際に、不足していたと感じた情報

	n=	仕事、求職の情報	交通網、交通手段に関する情報	病院等の医療施設の情報	住居の情報	町内会のルール等(ゴミ出しのルール等)の地域コミュニティの情報	余暇を過ごす場所、レジャー施設等の情報
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	38.0	21.8	19.7	19.9	19.4	15.7
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	608	17.8	15.8	19.1	12.3	16.4	15.1
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	33.2	21.6	17.6	21.1	17.0	17.0
(コロナ禍以前) 東京都から3県への移住者	1348	16.2	15.8	17.0	13.1	15.1	12.3
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		20.2	6.0	0.6	7.6	3.0	0.6

	日用品、生活必需品の購入の場所の情報	保育所、幼稚園、小学校等の教育施設の情報	子育て支援に関する情報	先輩移住者の成功談・失敗談に関する情報	天候、気候に関する情報	上記に当てはまるものはない
	14.4	9.9	10.4	8.6	8.9	29.7
	12.5	11.7	12.0	5.1	5.4	47.5
	11.7	9.8	9.0	7.6	8.8	30.6
	11.4	9.9	9.9	7.1	4.7	47.8
	1.9	-1.8	-1.6	3.5	3.5	-17.8

## 居住するのに最も理想的な地域(Q18)

- ◆理想的な居住地では、3県は、東京圏外より「東京都区部」（30.9%対24.8%）、「東京都区部等に通学・通勤可能な市町村」（27.6%対14.3%）が高い。

Q18 居住するのに最も理想的な地域

(%)

	n=	東京都区部	大阪市、名古屋市市内	東京都区部、大阪市、名古屋市に通学、通勤可能な距離にある市町村	地方の政令指定都市	地方の中核市、県庁所在地(政令指定都市ではない)及びそれらと同規模の市	地方の政令指定都市、中核市、県庁所在地及びそれらと同規模の市に通学、通勤可能な距離にある市町村	都市から離れた農山漁村地域
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	923	24.8	9.6	14.3	19.9	13.7	10.4	7.3
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	608	30.9	2.8	27.6	13.8	11.2	9.2	4.4
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	1766	21.4	8.5	12.7	22.9	14.8	13.3	6.3
(コロナ禍以前) 東京都から3県への移住者	1348	26.7	1.4	26.3	17.1	10.9	12.4	5.2
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		6.1	-6.8	13.3	-6.1	-2.5	-1.2	-2.9

## 移住時、移住後に利用した公共サービス等(Q21)

- ◆ 移住する際に利用した公共サービスでは、3県は、東京圏外より総じて低い。特に、「移住支援金制度」(10.5%対18.9%)、「東京圏に所在する移住相談窓口」(5.8%対12.5%)が低い。

### Q21 移住時、移住後に利用した公共サービス等

		(%)								
		国または自治体による移住支援金制度	家賃補助	移住先に所在する移住相談窓口	東京圏に所在する移住相談窓口	地元企業への就職・就業支援	国または自治体による起業支援金制度	土地・住宅購入補助	農林水産業への就業支援	空き家バンク
	n=									
(コロナ禍)										
東京都から東京圏外への移住者	923	18.9	8.5	10.9	12.5	9.4	9.6	6.9	7.2	5.4
(コロナ禍)										
東京都から3県への移住者	608	10.5	9.4	8.6	5.8	5.3	5.6	7.1	3.5	4.1
(コロナ禍以前)										
東京都から東京圏外への移住者	1766	12.5	10.5	10.9	8.6	8.9	7.4	6.2	5.5	5.3
(コロナ禍以前)										
東京都から3県への移住者	1348	8.4	9.6	6.3	5.0	3.9	4.2	5.8	3.6	3.3
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		-8.4	0.9	-2.3	-6.7	-4.1	-4.0	0.2	-3.7	-1.3

(%)								
結婚または出産に係る祝い金・祝い品(健康保険の出産育児一時金を除く)	移住関連イベント	移住モニターツアー	サテライトオフィス・コワーキングスペース	空き家改修経費の補助	移住体験住宅	その他 具体的に:	具体的:	当てはまるものはない
	2.9	3.5	2.9	3.6	2.9	2.3	0.2	53.7
	6.6	2.3	3.1	3.1	3.6	2.3	0.2	73.2
	4.0	3.8	3.9	2.9	3.2	3.3	0.3	59.5
	4.7	2.4	1.9	2.7	2.5	2.9	0.4	74.9
	3.7	-1.2	0.2	-0.5	0.7	0.0	0.0	19.5

## 新型コロナウイルス感染リスク収束後の在宅勤務の継続希望(Q24)

- ◆コロナ収束後の在宅勤務制度の利用の希望では、3県は、東京圏外より「在宅勤務を続けたい」（63.9%対58.4%）が高い。

### Q24 新型コロナウイルス感染リスク収束後の在宅勤務継続希望

	n=	(%)			
		在宅勤務を 続けたい	日数を減らし て在宅勤務 を続けたい	従来の上社 を中心とした 勤務形態に 戻りたい	わからない
(コロナ禍) 東京都から東京圏外への移住者	377	58.4	25.5	12.2	4.0
(コロナ禍) 東京都から3県への移住者	227	63.9	22.0	9.3	4.8
(コロナ禍以前) 東京都から東京圏外への移住者	587	42.1	41.4	13.1	3.4
(コロナ禍以前) 東京都から3県への移住者	402	58.0	25.6	10.4	6.0
※コロナ禍の東京圏外と3県の差異		-5.5	3.5	2.9	-0.8

(注) サンプル数は、全数から「現在の仕事」について「自営業・フリーランス」、「有給の仕事はしていない」、「その他」と回答した者を除いて、雇用者のみを対象にしている。

## Ⅲ 附表

## アンケート項目

### (属性関係)

- Q1 性別
- Q2 移住前に居住していた都県
- Q3 移住直後の居住地
- Q4 移住時の年齢
- Q5 移住前の就業・就学状況
- Q6 移住前に同居していた世帯の構成員

### (移住関係)

- Q7 同居者を伴う移住
- Q8 移住後の居住形態
- Q9 自身または世帯員の意思に基づく移住
- Q10 移住した要因
- Q11 移住のタイミングと重なる、自身の身の回りに関する変化
- Q12 移住のタイミングと重なる、同居の親族、同居人の身の回りに関する変化
- Q13 移住先との関係性
- Q14 移住当時に東京圏へ戻る予定
- Q15 現在の東京圏へ戻る予定
- Q16 東京圏外の地域に移住した際に、不足していたと感じた情報
- Q17 新型コロナウイルス感染症拡大をうけて、東京圏以外で暮らすことへの考えの変化
- Q18 居住するのに最も理想的な地域
- Q19 地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと
- Q20 東京圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと
- Q21 移住時、移住後に利用した公共サービス等
- Q22 現在の仕事
- Q23 在宅勤務の有無と利用頻度
- Q24 新型コロナウイルス感染リスク収束後の在宅勤務継続希望

## Q1 性別

(設問:あなたの性別をお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	男性	女性
東京圏から東京圏外への移住者	1814	56.8	43.2
うち東京都から	923	57.9	42.1
東京都から3県への移住者	608	47.9	52.1

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	男性	女性
東京圏から東京圏外への移住者	4373	55.1	44.9
うち東京都から	1766	56.2	43.8
東京都から3県への移住者	1348	47.9	52.1

## Q2 移住前に居住していた都県

(設問:移住前に居住していた都県をお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	東京都 区市町村：	神奈川県 市町村：	千葉県 市町村：	埼玉県 市町村：
東京圏から東京圏外への移住者	1814	50.9	23.2	12.3	13.6
男 性	1031	51.8	23.1	11.7	13.4
女 性	783	49.7	23.4	13.0	13.9
うち東京都から	923	100.0	0.0	0.0	0.0
東京都から3県への移住者	608	100.0	0.0	0.0	0.0

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	東京都 区市町村：	神奈川県 市町村：	千葉県 市町村：	埼玉県 市町村：
東京圏から東京圏外への移住者	4373	40.4	27.7	15.2	16.7
男 性	2411	41.1	27.8	14.8	16.3
女 性	1962	39.4	27.6	15.7	17.2
うち東京都から	1766	100.0	0.0	0.0	0.0
東京都から3県への移住者	1348	100.0	0.0	0.0	0.0

### Q3 移住直後の居住地

(設問:移住直後の居住地をお答えください。)

<コロナ禍>

(%)

	TOTAL	北海道 市町村:	青森県 市町村:	岩手県 市町村:	宮城県 市町村:	秋田県 市町村:	山形県 市町村:	福島県 市町村:	茨城県 市町村:	栃木県 市町村:	群馬県 市町村:
東京圏から東京圏外への移住者	1714	7.9	1.9	0.9	3.4	1.3	0.9	3.6	5.5	4.5	3.6
男性	976	7.3	1.5	0.7	3.3	1.3	1.0	4.2	4.8	4.6	3.0
女性	738	8.8	2.3	1.2	3.5	1.4	0.8	2.7	6.5	4.3	4.3
うち東京都から	894	9.7	1.9	0.7	4.0	1.3	1.1	3.9	4.5	3.7	2.7
東京都から3県への移住者	608	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

埼玉県 市町村:	千葉県 市町村:	神奈川県 市町村:	新潟県 市町村:	富山県 市町村:	石川県 市町村:	福井県 市町村:	山梨県 市町村:	長野県 市町村:	岐阜県 市町村:	静岡県 市町村:	愛知県 市町村:	三重県 市町村:
0.0	0.0	0.0	3.2	1.1	0.8	0.7	1.9	3.4	1.0	5.3	6.4	0.8
0.0	0.0	0.0	3.2	0.8	0.9	0.6	2.2	3.4	1.1	5.3	7.0	0.8
0.0	0.0	0.0	3.3	1.5	0.7	0.8	1.6	3.4	0.8	5.1	5.7	0.8
0.0	0.0	0.0	3.6	0.9	0.8	0.7	1.3	3.1	1.2	3.6	6.7	1.1
32.6	27.1	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

滋賀県 市町村:	京都府 市町村:	大阪府 市町村:	兵庫県 市町村:	奈良県 市町村:	和歌山県 市町村:	鳥取県 市町村:	島根県 市町村:	岡山県 市町村:	広島県 市町村:	山口県 市町村:	徳島県 市町村:	香川県 市町村:
1.1	2.5	10.0	4.5	0.9	0.6	0.6	0.7	1.4	2.7	0.9	0.5	0.7
1.5	2.8	10.3	4.1	1.0	0.8	0.8	0.6	1.3	2.3	0.9	0.5	0.8
0.5	2.2	9.5	5.0	0.7	0.4	0.3	0.8	1.5	3.3	0.9	0.5	0.5
1.0	2.5	11.4	5.3	1.2	0.7	0.4	0.7	1.6	2.6	1.0	0.9	1.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

愛媛県 市町村:	高知県 市町村:	福岡県 市町村:	佐賀県 市町村:	長崎県 市町村:	熊本県 市町村:	大分県 市町村:	宮崎県 市町村:	鹿児島県 市町村:	沖縄県 市町村:
0.8	0.6	5.2	0.4	1.6	1.5	0.9	0.7	0.9	2.1
0.8	0.6	6.5	0.4	1.4	1.5	1.0	0.6	0.7	1.4
0.8	0.5	3.5	0.4	1.8	1.5	0.7	0.8	1.2	3.0
0.7	0.6	4.7	0.1	1.7	1.8	0.4	0.2	1.0	2.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)サンプル数は、全数から海外への移住者を除外している。

### Q3 移住直後の居住地

(設問:移住直後の居住地をお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	北海道 市町村:	青森県 市町村:	岩手県 市町村:	宮城県 市町村:	秋田県 市町村:	山形県 市町村:	福島県 市町村:	茨城県 市町村:	栃木県 市町村:	群馬県 市町村:
東京圏から東京圏外への移住者	4100	8.0	1.5	1.7	4.0	1.6	1.2	2.1	5.9	3.9	3.2
男性	2278	7.9	1.4	1.8	4.6	1.8	1.2	2.0	5.8	3.7	2.9
女性	1822	8.2	1.5	1.5	3.2	1.4	1.2	2.3	6.1	4.1	3.6
うち東京都から	1717	8.9	1.7	1.4	4.3	1.6	1.1	2.0	5.6	2.6	2.4
東京都から3県への移住者	1348	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

埼玉県 市町村:	千葉県 市町村:	神奈川県 市町村:	新潟県 市町村:	富山県 市町村:	石川県 市町村:	福井県 市町村:	山梨県 市町村:	長野県 市町村:	岐阜県 市町村:	静岡県 市町村:	愛知県 市町村:	三重県 市町村:
0.0	0.0	0.0	3.0	1.0	1.3	0.4	1.5	3.5	1.4	5.6	6.0	1.0
0.0	0.0	0.0	3.1	0.9	1.4	0.4	1.5	2.9	1.4	5.3	5.8	0.8
0.0	0.0	0.0	2.9	1.0	1.1	0.3	1.5	4.3	1.5	6.0	6.2	1.2
0.0	0.0	0.0	2.9	0.8	1.3	0.3	1.2	3.4	1.2	4.9	6.5	1.0
32.6	28.8	38.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

滋賀県 市町村:	京都府 市町村:	大阪府 市町村:	兵庫県 市町村:	奈良県 市町村:	和歌山県 市町村:	鳥取県 市町村:	島根県 市町村:	岡山県 市町村:	広島県 市町村:	山口県 市町村:	徳島県 市町村:	香川県 市町村:
0.9	2.7	9.1	5.0	1.0	0.6	0.4	0.3	1.9	2.4	1.2	0.5	0.9
1.0	3.2	9.2	5.4	0.8	0.7	0.4	0.2	2.0	2.4	1.5	0.5	1.0
0.7	2.2	9.1	4.6	1.2	0.5	0.4	0.3	1.6	2.3	0.8	0.6	0.8
0.6	3.0	9.3	5.8	0.9	0.4	0.8	0.2	2.3	2.6	1.2	0.5	0.9
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

愛媛県 市町村:	高知県 市町村:	福岡県 市町村:	佐賀県 市町村:	長崎県 市町村:	熊本県 市町村:	大分県 市町村:	宮崎県 市町村:	鹿児島県 市町村:	沖縄県 市町村:
1.1	0.6	5.9	0.6	1.3	1.2	0.6	0.9	1.4	1.9
1.3	0.4	6.1	0.4	1.5	1.1	0.6	0.8	1.4	1.4
0.8	0.8	5.5	0.7	1.0	1.4	0.7	1.0	1.4	2.5
1.2	0.8	6.6	0.4	1.0	1.5	0.7	1.0	1.2	2.2
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)サンプル数は、全数から海外への移住者を除外している。

## Q4 移住時の年齢

(設問: 移住時のあなたの年齢をお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
東京圏から東京圏外への移住者	1814	5.7	22.9	23.5	18.7	16.1	11.4	1.7
男 性	1031	5.6	16.2	19.8	21.4	20.7	14.5	1.8
女 性	783	5.7	31.8	28.4	15.2	10.1	7.4	1.4
うち東京都から	923	5.0	22.5	24.7	20.7	14.3	11.2	1.6
東京都から3県への移住者	608	5.1	23.7	26.6	19.4	16.1	8.1	1.0

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
東京圏から東京圏外への移住者	4373	7.0	25.9	22.8	18.9	14.4	9.5	1.5
男 性	2411	6.5	17.8	19.4	22.5	18.7	13.5	1.7
女 性	1962	7.6	35.8	27.1	14.6	9.2	4.5	1.2
うち東京都から	1766	5.0	27.3	24.4	18.2	14.4	9.2	1.3
東京都から3県への移住者	1348	5.8	26.6	27.7	19.2	12.8	6.7	1.3

## Q5 移住前の就業・就学状況

(設問:移住前の就業・就学状態をお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	正規職員	自営業・フリーランス	非正規職員 (パート、アルバイト、派遣職員等)	高校、大学、専門学校などに在学 (正規雇用でない状態)	専業主夫・主婦	無職
東京圏から東京圏外への移住者	1814	58.6	7.1	14.4	6.4	7.1	6.4
男性	1031	70.6	8.5	7.0	6.2	0.3	7.4
女性	783	42.8	5.1	24.1	6.6	16.1	5.2
うち東京都から	923	63.3	6.9	13.9	5.5	5.9	4.6
東京都から3県への移住者	608	60.0	7.6	14.8	5.8	6.4	5.4

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	正規職員	自営業・フリーランス	非正規職員 (パート、アルバイト、派遣職員等)	高校、大学、専門学校などに在学 (正規雇用でない状態)	専業主夫・主婦	無職
東京圏から東京圏外への移住者	4373	59.5	6.2	15.2	7.3	7.3	4.5
男性	2411	72.7	7.3	7.7	6.6	0.2	5.4
女性	1962	43.3	4.7	24.5	8.2	16.0	3.3
うち東京都から	1766	62.8	6.6	14.0	6.3	6.3	4.0
東京都から3県への移住者	1348	62.4	5.8	16.4	5.4	6.7	3.3

## Q6 移住前に同居していた世帯の構成員

(設問:移住前に同居していた世帯の構成員で、当てはまるものをお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	回答者自身の み	同居人あり							
			配偶者	子ども(就学 児以上)	父親・母親	子ども (未就学児)	祖父母	孫	その他 具体的に:	
東京圏から東京圏外への移住者	1814	37.7	62.3	70.2	20.5	15.9	9.8	2.2	0.7	3.6
男性	1031	40.9	59.1	74.5	22.5	15.2	8.3	1.9	0.5	2.0
女性	783	33.3	66.7	65.1	17.8	16.7	11.7	2.6	0.9	5.6
うち東京都から	923	40.0	60.0	75.8	23.1	11.7	11.4	2.0	0.8	2.6
東京都から3県への移住者	608	35.4	64.6	65.1	14.8	19.4	10.4	1.5	0.5	5.1

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	回答者自身の み	同居人あり							
			配偶者	子ども(就学 児以上)	父親・母親	子ども (未就学児)	祖父母	孫	その他 具体的に:	
東京圏から東京圏外への移住者	4373	38.6	61.4	68.3	17.1	16.4	9.9	1.6	0.3	3.4
男性	2411	44.2	55.8	76.7	18.1	12.2	8.9	0.9	0.3	1.4
女性	1962	31.8	68.2	59.8	15.9	21.6	11.2	2.4	0.2	5.8
うち東京都から	1766	43.7	56.3	72.8	16.9	12.5	10.5	1.4	0.2	2.9
東京都から3県への移住者	1348	36.7	63.3	66.4	15.4	18.2	9.6	2.0	0.4	5.6

## Q7 同居者を伴う移住

(設問:移住前の同居者を伴って移住しましたか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	全員または一部 の世帯構成員が ともに移住	誰も伴わない移 住
東京圏から東京圏外への移住者	1131	71.5	28.5
男 性	609	73.9	26.1
女 性	522	68.8	31.2
うち東京都から	554	80.9	19.1
東京都から3県への移住者	393	73.8	26.2

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	全員または一部 の世帯構成員が ともに移住	誰も伴わない移 住
東京圏から東京圏外への移住者	2684	67.9	32.1
男 性	1345	71.0	29.0
女 性	1339	64.8	35.2
うち東京都から	994	75.5	24.5
東京都から3県への移住者	853	70.8	29.2

(注) サンプル数は、全数から「Q6. 移住前の同居していた世帯の構成員」の問いに「回答者自身のみ」と回答した者を除いて、移住前に同居者がいた回答者のみを対象にしている。

## Q8 移住後の居住形態

(設問:移住後の居住形態で当てはまるものをお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	賃貸住宅、賃貸マンションに居住	持ち家、所有のマンションに居住	親族の家（自宅を含む）に居住	知人の家に居住	社宅に居住	その他 具体的に：
東京圏から東京圏外への移住者	1814	51.2	29.7	11.0	0.5	6.9	0.7
男性	1031	48.2	33.3	9.8	0.2	7.7	0.9
女性	783	55.0	25.0	12.6	0.9	5.9	0.5
うち東京都から	923	50.3	32.3	10.3	0.8	5.6	0.8
東京都から3県への移住者	608	57.6	33.2	3.8	0.8	3.8	0.8

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	賃貸住宅、賃貸マンションに居住	持ち家、所有のマンションに居住	親族の家（自宅を含む）に居住	知人の家に居住	社宅に居住	その他 具体的に：
東京圏から東京圏外への移住者	4373	53.8	26.7	10.7	1.0	6.8	0.9
男性	2411	49.1	30.1	10.2	1.0	8.6	0.9
女性	1962	59.6	22.6	11.4	1.0	4.6	0.8
うち東京都から	1766	54.0	28.5	10.1	0.8	6.1	0.5
東京都から3県への移住者	1348	58.5	31.9	5.0	0.5	3.1	1.0

## Q9 自身または世帯員の意思に基づく移住

(設問:あなたの移住はあなた自身または世帯員の意思に基づくものでしたでしょうか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	移住はあなた自身の意思に基づくものであった	移住は世帯員の意思に基づくものであった
東京圏から東京圏外への移住者	1814	80.0	20.0
男性	1031	86.8	13.2
女性	783	71.0	29.0
うち東京都から	923	80.3	19.7
東京都から3県への移住者	608	79.1	20.9

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	移住はあなた自身の意思に基づくものであった	移住は世帯員の意思に基づくものであった
東京圏から東京圏外への移住者	4373	79.9	20.1
男性	2411	87.7	12.3
女性	1962	70.2	29.8
うち東京都から	1766	83.0	17.0
東京都から3県への移住者	1348	77.9	22.1

## Q10 移住した要因

(設問:あなたが移住した要因として、当てはまるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍>

(%)

	TOTAL	通勤・通学環境（長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等）を 変えるため	移住先の地域に希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため	労働環境（長時間労働、激務等）を変えるため	地元または慣れ親しんだ地域（居住、訪問経験あり）で暮らすため	同居していない親族と同居、近居するため	山や海などの自然環境の豊かな環境下で生活するため	東京都、東京圏より人が少なく、静かな環境下で生活するため
東京圏から東京圏外への移住者	1814	20.8	17.1	14.4	12.5	11.3	11.4	10.9
男 性	1031	24.8	19.9	17.7	11.8	9.3	13.0	12.4
女 性	783	15.6	13.4	10.1	13.4	13.9	9.2	8.8
うち東京都から	923	25.1	17.1	16.9	13.7	12.1	11.2	14.0
東京都から3県への移住者	608	20.4	8.1	7.2	7.2	11.2	6.4	16.3

あなた自身または同居の親族、同居人の健康上の理由のため	職務上の地位、身分、立場、賃金、やりがいに満足していなかったため	あなた自身または親族の介護のため	家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため	広い居住空間を得るため	同居の親族、同居人の移住に同行するため（同居の親族、同居人のみに該当する理由による移住に同行するもの）	現在及び将来の災害や感染症等のリスクを回避するため	求職減、失職または収入減のため
5.8	6.7	6.9	6.9	7.3	5.5	9.5	7.4
6.5	9.1	8.0	7.4	7.0	3.4	10.6	7.9
4.9	3.4	5.6	6.4	7.7	8.3	8.2	6.8
5.2	8.8	8.3	7.0	8.0	6.0	10.8	8.0
4.6	3.1	4.1	16.0	24.5	5.3	8.6	6.6

子育て環境、教育環境を変えるため	東京都、東京圏での就職、就学を希望していたが、希望が叶わなかったため	在宅勤務が可能となったことで、通勤する必要がなくなったまたは機会が減ったため	オンライン授業が導入されたことで、通学する必要がなくなったまたは機会が減ったため	地方圏から都市圏への交通アクセスが改善したため	通信環境（ネットの繋がりが具合）が地方圏でも充実したため	職務上または学業上の自己の意思と関係ない事情により移住することになったため	上記に当てはまるものはない
4.9	4.0	5.3	2.5	2.3	2.6	0.0	16.5
3.7	4.5	6.5	3.2	2.8	3.6	0.0	13.1
6.5	3.4	3.8	1.5	1.7	1.4	0.0	20.9
5.6	5.2	6.1	3.5	3.1	3.0	0.0	14.2
9.5	3.1	10.7	1.6	3.0	2.1	0.0	21.2

## Q10 移住した要因(続き)

(設問:あなたが移住した要因として、当てはまるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	通勤・通学環境（長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等）を 変えるため	移住先の地域に希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため	労働環境（長時間労働、激務等）を変えるため	地元または慣れ親しんだ地域（居住、訪問経験あり）で暮らすため	同居していない親族と同居、近居するため	山や海などの自然環境の豊かな環境下で生活するため	東京都、東京圏より人が少なく、静かな環境下で生活するため
東京圏から東京圏外への移住者	4373	16.3	17.8	12.6	11.4	10.4	8.9	8.5
男性	2411	18.3	20.0	14.5	11.9	9.8	9.5	8.9
女性	1962	13.9	15.1	10.3	10.8	11.2	8.2	8.0
うち東京都から	1766	17.2	16.8	14.8	13.2	10.5	9.8	10.0
東京都から3県への移住者	1348	21.4	9.1	7.4	3.9	10.1	5.0	9.5

あなた自身または同居の親族、同居人の健康上の理由のため	職務上の地位、身分、立場、賃金、やりがいに満足していなかったため	あなた自身または親族の介護のため	家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため	広い居住空間を得るため	同居の親族、同居人の移住に同行するため（同居の親族、同居人のみに該当する理由による移住に同行するもの）	現在及び将来の災害や感染症等のリスクを回避するため	求職減、失職または収入減のため
7.1	6.6	6.3	6.2	5.6	5.4	3.3	4.0
6.9	8.6	7.1	6.3	5.9	2.0	3.4	5.0
7.4	4.1	5.2	6.1	5.1	9.6	3.2	2.7
7.9	7.9	6.6	6.9	6.6	5.0	4.3	4.8
5.5	3.3	2.5	13.4	18.0	4.0	1.9	3.2

子育て環境、教育環境を変えるため	東京都、東京圏での就職、就学を希望していたが、希望が叶わなかったため	在宅勤務が可能となったことで、通勤する必要がなくなったまたは機会が減ったため	オンライン授業が導入されたことで、通学する必要がなくなったまたは機会が減ったため	地方圏から都市圏への交通アクセスが改善したため	通信環境（ネットの繋がり具合）が地方圏でも充実したため	職務上または学業上の自己の意思と関係ない事情により移住することになったため	上記に当てはまるものはない
4.8	4.8	2.6	2.2	2.3	1.9	0.0	19.8
3.7	5.7	3.2	2.7	2.6	2.2	0.0	15.9
6.2	3.7	1.9	1.6	1.8	1.4	0.0	24.5
5.4	5.1	3.0	2.4	2.6	2.4	0.0	17.6
7.9	2.0	1.9	1.4	1.9	1.3	0.0	26.2

## Q11 移住のタイミングと重なる、自身の身の回りに関する変化

(設問:あなた自身の身の回りに関する変化で、移住のタイミングと重なるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍>

(%)

	TOTAL	自身が転職した(起業、独立等を含む)	自身が就職した	自身が転勤(人事異動等)、職場が再編(部署ごとオフィスが移動、合併、分割等)した	自身が離職した(定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なまたは再就職先が決まっていない離職)	自身が結婚した
東京圏から東京圏外への移住者	1814	16.0	13.7	14.9	13.3	7.7
男性	1031	20.1	14.9	19.8	14.4	2.9
女性	783	10.7	12.1	8.4	11.9	13.9
うち東京都から	923	17.3	13.5	19.2	13.3	6.6
東京都から3県への移住者	608	8.2	7.4	8.6	7.7	16.6

自身が進学した	自身が出産した	自身が離婚した	コロナの影響(感染不安等)	家族等の死別	同居していない家族が亡くなった	上記にあてはまるものはない
6.1	2.4	0.4	0.7	0.1	0.0	36.1
7.4	0.0	0.1	1.0	0.0	0.0	31.1
4.5	5.5	0.9	0.4	0.1	0.0	42.5
8.0	2.1	0.4	0.9	0.1	0.0	33.5
4.4	4.1	0.3	0.0	0.3	0.0	51.3

## Q11 移住のタイミングと重なる、自身の身の回りに関する変化(続き)

(設問:あなた自身の身の回りに関する変化で、移住のタイミングと重なるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	自身が転職した(起業、独立等を含む)	自身が就職した	自身が転勤(人事異動等)、職場が再編(部署ごとオフィスが移動、合併、分割等)した	自身が離職した(定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なしまたは再就職先が決まっていない離職)	自身が結婚した
東京圏から東京圏外への移住者	4373	17.5	15.2	14.6	13.7	9.8
男性	2411	21.1	16.4	19.4	14.8	3.4
女性	1962	13.2	13.6	8.8	12.3	17.8
うち東京都から	1766	18.2	15.2	15.6	14.8	8.8
東京都から3県への移住者	1348	10.0	9.2	7.9	7.2	20.0

自身が進学した	自身が出産した	自身が離婚した	コロナの影響(感染不安等)	家族等の死別	同居していない家族が亡くなった	上記にあてはまるものはない
5.4	2.1	0.6	0.1	0.2	0.0	33.0
5.4	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	30.4
5.6	4.7	1.2	0.1	0.2	0.0	36.2
5.5	2.1	0.5	0.1	0.2	0.0	31.3
3.0	3.3	1.2	0.1	0.0	0.0	48.4

## Q12 移住のタイミングと重なる、同居の親族、同居人の身の回りに関する変化

(設問:同居の親族、同居人の身の回りに関する変化で、移住のタイミングと重なるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍>

(%)

	TOTAL	同居の親族、同居人が転勤（人事異動等）、勤務先が再編した（部署ごとオフィス転出、部署の合併、分割等）	同居の親族、同居人が就学、進学した	同居の親族、同居人が転職した（起業、独立等を含む）	同居の親族、同居人が就職した	同居の親族、同居人が退職した（定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なしまたは再就職先が決まっていない離職）
東京圏から東京圏外への移住者	1131	10.3	12.6	9.2	8.0	7.9
男性	609	7.2	14.6	7.7	10.3	7.1
女性	522	14.0	10.3	10.9	5.2	8.8
うち東京都から	554	13.0	15.7	10.1	10.6	10.1
東京都から3県への移住者	393	6.4	8.9	5.6	4.6	4.1

	同居の親族または同居人が結婚した	同居の親族または同居人が出産した	同居の親族又は同居人が亡くなった	同居の親族、同居人が離婚した	コロナの影響（感染不安等）	上記にあてはまるものはない
	2.3	1.9	0.1	0.0	0.4	58.7
	3.0	2.3	0.2	0.0	0.5	62.7
	1.5	1.3	0.0	0.0	0.2	54.0
	2.0	2.9	0.0	0.0	0.5	51.8
	4.6	3.6	0.5	0.8	0.0	71.8

(注) サンプル数は、全数から「Q6. 移住前の同居していた世帯の構成員」から「回答者自身のみ」と回答した者を除いて、移住前に同居者がいた回答者のみを対象にしている。

## Q12 移住のタイミングと重なる、同居の親族、同居人の身の回りに関する変化(続き)

(設問:同居の親族、同居人の身の回りに関する変化で、移住のタイミングと重なるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	同居の親族、同居人が転勤（人事異動等）、勤務先が再編した（部署ごとオフィス転出、部署の合併、分割等）	同居の親族、同居人が就学、進学した	同居の親族、同居人が転職した（起業、独立等を含む）	同居の親族、同居人が就職した	同居の親族、同居人が離職した（定年退職、若しくは退職当時、再就職の予定なしまは再就職先が決まっていない離職）
東京圏から東京圏外への移住者	2684	13.2	9.6	10.0	8.3	6.8
男性	1345	10.1	10.6	7.5	8.9	6.2
女性	1339	16.2	8.6	12.5	7.7	7.4
うち東京都から	994	14.0	11.0	11.1	9.9	7.6
東京都から3県への移住者	853	5.7	7.3	6.2	3.6	4.1

	同居の親族または同居人が結婚した	同居の親族または同居人が出産した	同居の親族又は同居人が亡くなった	同居の親族、同居人が離婚した	コロナの影響（感染不安等）	上記にあてはまるものはない
	3.4	1.5	0.2	0.2	0.0	58.2
	3.5	1.5	0.1	0.1	0.1	63.1
	3.2	1.4	0.2	0.4	0.0	53.2
	3.1	2.0	0.2	0.2	0.1	54.7
	4.9	2.8	0.0	0.6	0.0	72.1

(注) サンプル数は、全数から「Q6. 移住前の同居していた世帯の構成員」から「回答者自身のみ」と回答した者を除いて、移住前に同居者がいた回答者のみを対象にしている。

## Q13 移住先との関係性

(設問:移住先はあなたとどのような関係がありましたか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	自身の出身地であった	自身の出身地ではないが、親族、同居人の出身地であった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、自身が同都道府県内または近郊に居住した経験があった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、親族、同居人が同都道府県内または近郊に居住した経験があった(自身は居住経験なし)	自身が仕事・観光等で訪問したことがあった	その他の機会に関わったことがあった	関わったことはなかった
東京圏から東京圏外への移住者	1814	41.8	14.4	8.0	4.0	10.7	3.7	17.3
男性	1031	42.5	13.1	9.2	2.9	12.4	4.3	15.6
女性	783	41.0	16.2	6.5	5.4	8.4	2.9	19.5
うち東京都から	923	47.0	15.1	7.6	3.7	9.6	2.6	14.4
東京都から3県への移住者	608	15.8	13.8	11.2	8.6	8.7	6.7	35.2

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	自身の出身地であった	自身の出身地ではないが、親族、同居人の出身地であった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、自身が同都道府県内または近郊に居住した経験があった	自身や親族、同居人の出身地ではなかったが、親族、同居人が同都道府県内または近郊に居住した経験があった(自身は居住経験なし)	自身が仕事・観光等で訪問したことがあった	その他の機会に関わったことがあった	関わったことはなかった
東京圏から東京圏外への移住者	4373	35.6	15.5	8.8	5.6	9.9	5.0	19.6
男性	2411	38.2	13.4	9.7	5.3	10.5	5.1	17.8
女性	1962	32.4	18.2	7.7	6.0	9.2	4.8	21.7
うち東京都から	1766	42.1	15.8	9.3	5.5	8.6	3.8	14.9
東京都から3県への移住者	1348	14.8	12.8	12.0	7.3	7.9	7.1	38.1

## Q14 移住当時に東京圏へ戻る予定

(設問:移住当時、東京都または東京圏に戻る予定はありましたか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	戻ることがほぼ 確定していた	戻る予定はな かった	戻るかどう か(戻れるかどう か)分からな かった
東京圏から東京圏外への移住者	1814	17.6	51.3	31.1
男 性	1031	20.1	49.5	30.5
女 性	783	14.3	53.8	31.9
うち東京都から	923	20.8	50.8	28.4
東京都から3県への移住者	608	6.9	56.3	36.8

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	戻ることがほぼ 確定していた	戻る予定はな かった	戻るかどう か(戻れるかどう か)分からな かった
東京圏から東京圏外への移住者	4373	16.7	52.2	31.1
男 性	2411	17.7	54.3	28.0
女 性	1962	15.4	49.6	35.0
うち東京都から	1766	17.1	52.0	30.9
東京都から3県への移住者	1348	6.1	62.3	31.6

## Q15 現在、東京圏へ戻る予定

(設問:現在、東京都または東京圏に戻る予定はありますか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	戻ることがほ ぼ確定してい る	いずれ戻る予 定がある	戻る予定はな い	わからない
東京圏から東京圏外への移住者	1602	9.2	15.6	51.2	24.0
男 性	905	10.9	16.2	51.2	21.7
女 性	697	6.9	14.8	51.2	27.1
うち東京都から	909	12.7	17.7	46.8	22.9
東京都から3県への移住者	600	4.2	11.2	47.3	37.3

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	戻ることがほ ぼ確定してい る	いずれ戻る予 定がある	戻る予定はな い	わからない
東京圏から東京圏外への移住者	3672	6.9	16.2	51.5	25.3
男 性	2055	7.7	16.4	52.9	22.9
女 性	1617	5.9	16.0	49.7	28.4
うち東京都から	1738	9.3	17.1	47.5	26.1
東京都から3県への移住者	1328	3.5	10.2	54.9	31.3

(注) サンプル数は、全数から現時点で東京都、東京圏に戻ったものを除いている。

## Q16 東京圏外の地域に移住した際に、不足していたと感じた情報

(設問:東京都外、東京圏外の地域に移住した際に、不足していると感じた情報で、当てはまるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍>

(%)

	TOTAL	仕事、求職の情報	交通網、交通手段に関する情報	住居の情報	病院等の医療施設の情報	町内会のルール等 (ゴミ出しのルール等)の地域コミュニティの情報
東京圏から東京圏外への移住者	1814	34.1	20.6	18.9	18.3	18.4
男性	1031	33.2	19.4	19.8	17.6	18.8
女性	783	35.4	22.1	17.8	19.3	17.9
うち東京都から	923	38.0	21.8	19.9	19.7	19.4
東京都から3県への移住者	608	17.8	15.8	12.3	19.1	16.4

余暇を過ごす場所、 レジャー施設等の情報	日用品、生活必需品 の購入の場所の情報	子育て支援に関する 情報	保育所、幼稚園、小 学校等の教育施設の 情報	天候、気候に関する 情報	先輩移住者の成功 談・失敗談に関する 情報	上記に当てはまるも のではない
15.8	14.4	9.3	8.8	8.7	9.0	33.0
14.8	14.1	8.1	7.6	9.3	8.5	33.7
17.1	14.8	10.7	10.5	7.8	9.6	32.1
15.7	14.4	10.4	9.9	8.9	8.6	29.7
15.1	12.5	12.0	11.7	5.4	5.1	47.5

## Q16 東京圏外の地域に移住した際に、不足していたと感じた情報(続き)

(設問:東京都外、東京圏外の地域に移住した際に、不足していると感じた情報で、当てはまるものをすべてお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	仕事、求職の情報	交通網、交通手段に関する情報	住居の情報	病院等の医療施設の情報	町内会のルール等 (ゴミ出しのルール等)の地域コミュニティの情報
東京圏から東京圏外への移住者	4373	31.1	22.0	20.8	18.1	16.6
男性	2411	29.4	19.2	20.2	15.7	17.2
女性	1962	33.1	25.4	21.6	21.0	16.0
うち東京都から	1766	33.2	21.6	21.1	17.6	17.0
東京都から3県への移住者	1348	16.2	15.8	13.1	17.0	15.1

余暇を過ごす場所、 レジャー施設等の情報	日用品、生活必需品 の購入の場所の情報	子育て支援に関する 情報	保育所、幼稚園、小 学校等の教育施設の 情報	天候、気候に関する 情報	先輩移住者の成功 談・失敗談に関する 情報	上記に当てはまるも のではない
16.8	11.6	9.4	8.6	8.3	7.8	33.1
15.1	10.5	7.0	7.2	8.3	6.4	34.7
18.8	13.0	12.2	10.2	8.3	9.5	31.1
17.0	11.7	9.0	9.8	8.8	7.6	30.6
12.3	11.4	9.9	9.9	4.7	7.1	47.8

## Q17 新型コロナウイルス感染症拡大をうけて、東京圏以外で暮らすことへの考えの変化

(設問:新型コロナウイルス感染症の拡大をうけて、東京都、東京圏以外で暮らすことへの考えは変わりましたか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	東京都、東京圏での暮らしをより望むようになった、または暮らし続けたいと思うようになった	どちらかといえば東京都、東京圏での暮らしをより望むようになったまたは暮らし続けたいと思うようになった	特に考えは変わらなかった	どちらかといえば東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、またはどちらかといえば暮らし続けたいと思うようになった	東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、または暮らし続けたいと思うようになった
東京圏から東京圏外への移住者	1814	12.1	8.7	40.1	16.6	22.5
男性	1031	13.7	8.6	39.2	14.6	23.9
女性	783	10.0	8.7	41.4	19.2	20.8
うち東京都から	923	14.7	10.0	34.5	17.6	23.3
東京都から3県への移住者	608	6.4	9.2	53.1	17.4	13.8

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	東京都、東京圏での暮らしをより望むようになった、または暮らし続けたいと思うようになった	どちらかといえば東京都、東京圏での暮らしをより望むようになったまたは暮らし続けたいと思うようになった	特に考えは変わらなかった	どちらかといえば東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、またはどちらかといえば暮らし続けたいと思うようになった	東京都外、東京圏外での暮らしを望むようになった、または暮らし続けたいと思うようになった
東京圏から東京圏外への移住者	4373	7.4	11.2	47.2	15.5	18.7
男性	2411	8.1	11.9	48.2	13.8	18.0
女性	1962	6.5	10.3	46.1	17.5	19.6
うち東京都から	1766	9.3	10.7	44.3	16.1	19.6
東京都から3県への移住者	1348	5.8	7.8	60.6	13.4	12.5

## Q18 居住するのに最も理想的な地域

(設問: 以下の中で、いずれの規模の地域が居住するのに最も理想的だと思いますか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	東京都区部	大阪市、名古屋市内	東京都区部、大阪市、名古屋市内に通勤、通勤可能な距離にある市町村	地方の政令指定都市	地方の中核市、県庁所在地（政令指定都市ではない）及びそれらと同規模の市	地方の政令指定都市、中核市、県庁所在地及びそれらと同規模の市に通学、通勤可能な距離にある市町村	都市から離れた農山漁村地域
東京圏から東京圏外への移住者	1814	18.9	7.2	15.0	20.6	15.4	14.2	8.7
男性	1031	19.9	7.4	14.1	21.0	14.9	13.0	9.7
女性	783	17.5	7.0	16.3	19.9	16.1	15.7	7.4
うち東京都から	923	24.8	9.6	14.3	19.9	13.7	10.4	7.3
東京都から3県への移住者	608	30.9	2.8	27.6	13.8	11.2	9.2	4.4

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	東京都区部	大阪市、名古屋市内	東京都区部、大阪市、名古屋市内に通勤、通勤可能な距離にある市町村	地方の政令指定都市	地方の中核市、県庁所在地（政令指定都市ではない）及びそれらと同規模の市	地方の政令指定都市、中核市、県庁所在地及びそれらと同規模の市に通学、通勤可能な距離にある市町村	都市から離れた農山漁村地域
東京圏から東京圏外への移住者	4373	15.0	6.7	15.8	23.3	16.3	15.8	7.1
男性	2411	14.4	7.0	15.7	23.4	17.2	14.8	7.5
女性	1962	15.7	6.4	15.9	23.2	15.3	16.9	6.6
うち東京都から	1766	21.4	8.5	12.7	22.9	14.8	13.3	6.3
東京都から3県への移住者	1348	26.7	1.4	26.3	17.1	10.9	12.4	5.2

## Q19 地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと

(設問:次の中で、地方圏のイメージとして2020年4月以降(新型コロナウイルス感染症拡大以降)あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる	地方圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏で働き続けられる機会が減った	地方圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	地方圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある
東京圏から東京圏外への移住者	1814	24.5	23.2	19.7	12.2	11.6	12.2
男 性	1031	24.3	28.1	19.7	13.0	9.8	14.0
女 性	783	24.6	16.6	19.7	11.1	13.9	9.8
うち東京都から	923	24.5	29.5	18.9	12.8	12.2	11.4
東京都から3県への移住者	608	20.4	13.2	19.9	9.7	10.0	11.2

東京圏を離れ地方圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった	地方圏に本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている	地方圏に情報通信など成長している企業が進出している	地方圏の企業で採用が増えている	地方圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	地方圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない
11.5	8.8	8.9	10.3	6.9	4.3	31.2
13.3	10.3	10.9	12.8	8.1	5.3	27.9
9.1	6.8	6.3	7.0	5.5	2.9	35.5
11.9	8.7	8.2	11.8	8.8	5.0	27.3
8.4	11.8	9.7	8.7	5.3	4.1	47.5

## Q19 地方圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと (続き)

(設問:次の中で、地方圏のイメージとして2020年4月以降(新型コロナウイルス感染症拡大以降)あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。)

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる	地方圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏で働き続けられる機会が減った	地方圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	地方圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある
東京圏から東京圏外への移住者	4373	22.8	18.5	19.4	13.1	13.1	10.9
男性	2411	21.3	22.5	19.5	14.1	12.2	11.9
女性	1962	24.6	13.6	19.3	12.0	14.3	9.7
うち東京都から	1766	25.0	22.8	19.5	12.9	14.3	11.1
東京都から3県への移住者	1348	18.5	10.4	18.0	7.6	10.9	8.3

東京圏を離れ地方圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった	地方圏に本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている	地方圏に情報通信など成長している企業が進出している	地方圏の企業で採用が増えている	地方圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	地方圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない
9.1	10.2	8.7	8.1	8.0	5.0	33.2
11.4	11.8	10.0	10.3	7.9	5.2	31.7
6.3	8.1	7.2	5.3	8.0	4.7	35.0
10.6	11.3	9.3	8.5	8.6	6.1	29.7
7.1	8.2	7.4	7.0	4.4	2.4	49.7

## Q20 東京圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと

(設問:次の中で、東京圏のイメージとして2020年4月以降(新型コロナウイルス感染症拡大以降)あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる	東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	東京圏で働き続けられる機会が減った	東京圏は情報通信など成長している企業が集中している	東京圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある
東京圏から東京圏外への移住者	1814	19.6	19.2	16.7	12.8	11.9	10.5
男性	1031	18.1	23.0	17.2	13.4	11.1	9.6
女性	783	21.5	14.3	16.1	12.1	13.0	11.7
うち東京都から	923	20.3	23.6	17.8	12.8	12.0	10.7
東京都から3県への移住者	608	17.8	12.2	13.7	12.3	11.5	9.4

東京圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	東京圏は本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている	東京圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏を離れて東京圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった	東京圏の企業で地方圏からの採用が増えている	東京圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない
9.5	9.5	9.6	8.3	6.8	6.5	37.9
8.4	11.2	8.8	11.0	8.8	6.6	36.9
11.0	7.3	10.7	4.9	4.1	6.4	39.3
10.6	8.8	9.8	9.8	6.2	7.2	33.5
8.2	10.7	11.8	6.7	6.6	5.9	48.8

## Q20 東京圏のイメージとして、新型コロナウイルス感染症拡大以降、感じていることや見聞きしたこと (続き)

(設問:次の中で、東京圏のイメージとして2020年4月以降(新型コロナウイルス感染症拡大以降)あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる	東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった	東京圏で働き続けられる機会が減った	東京圏は情報通信など成長している企業が集まっている	東京圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている	東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある
東京圏から東京圏外への移住者	4373	19.6	13.9	14.8	11.9	11.8	10.9
男性	2411	18.4	15.8	15.6	12.2	11.2	11.0
女性	1962	21.1	11.5	13.8	11.6	12.6	10.8
うち東京都から	1766	21.6	17.0	15.3	12.9	11.7	13.3
東京都から3県への移住者	1348	16.3	9.7	12.6	9.3	11.1	7.6

東京圏は女性が活躍できる仕事が多くなった	東京圏は本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている	東京圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている	地方圏を離れて東京圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった	東京圏の企業で地方圏からの採用が増えている	東京圏の企業で女性の採用が増えている	選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない
10.6	10.0	8.6	8.5	7.1	5.6	40.9
10.5	11.7	8.2	9.8	8.2	5.8	39.3
10.8	8.0	9.1	6.8	5.7	5.4	42.8
12.7	10.3	9.6	9.4	7.4	6.4	37.4
7.6	8.2	7.4	5.1	4.5	4.2	53.8

## Q21 移住時、移住後に利用した公共サービス等

(設問:次の中で、あなたが移住する際または移住後に利用したサービス等があればお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	国または自治体による移住支援金制度	移住先に所在する移住相談窓口	家賃補助	東京圏に所在する移住相談窓口	地元企業への就職・就業支援	国または自治体による起業支援金制度	土地・住宅購入補助	空き家バンク
東京圏から東京圏外への移住者	1814	14.5	9.6	8.5	9.6	7.6	7.1	5.9	5.2
男性	1031	17.4	10.6	9.1	11.7	8.0	8.6	6.8	6.1
女性	783	10.7	8.3	7.8	6.8	7.2	5.0	4.7	4.1
うち東京都から	923	18.9	10.9	8.5	12.5	9.4	9.6	6.9	5.4
東京都から3県への移住者	608	10.5	8.6	9.4	5.8	5.3	5.6	7.1	4.1

農林水産業への就業支援	結婚または出産に係る祝い金・祝い品（健康保険の出産育児一時金を除く）	移住モニターツアー	移住関連イベント	空き家改修経費の補助	移住体験住宅	サテライトオフィス・コワーキングスペース	その他 具体的に：	当てはまるものはない
5.2	3.0	2.9	3.1	3.0	2.2	2.8	0.2	60.6
6.0	2.2	3.6	3.3	4.0	2.8	3.3	0.2	56.8
4.2	4.1	2.0	2.9	1.7	1.4	2.2	0.3	65.6
7.2	2.9	2.9	3.5	2.9	2.3	3.6	0.2	53.7
3.5	6.6	3.1	2.3	3.6	2.3	3.1	0.2	73.2

## Q21 移住時、移住後に利用した公共サービス等(続き)

(設問:次の中で、あなたが移住する際または移住後に利用したサービス等があればお答えください。)

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	国または自治体による移住支援金制度	移住先に所在する移住相談窓口	家賃補助	東京圏に所在する移住相談窓口	地元企業への就職・就業支援	国または自治体による起業支援金制度	土地・住宅購入補助	空き家バンク
東京圏から東京圏外への移住者	4373	10.4	9.5	9.5	7.3	8.1	6.4	5.9	4.8
男性	2411	12.1	10.0	9.6	8.4	9.3	7.7	6.7	5.1
女性	1962	8.3	8.9	9.4	5.9	6.6	4.7	4.8	4.3
うち東京都から	1766	12.5	10.9	10.5	8.6	8.9	7.4	6.2	5.3
東京都から3県への移住者	1348	8.4	6.3	9.6	5.0	3.9	4.2	5.8	3.3

農林水産業への就業支援	結婚または出産に係る祝い金・祝い品(健康保険の出産育児一時金を除く)	移住モニターアー	移住関連イベント	空き家改修経費の補助	移住体験住宅	サテライトオフィス・コワーキングスペース	その他 具体的に:	当てはまるものはない
4.5	3.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.2	0.3	62.1
5.9	2.4	3.4	2.8	2.8	3.0	2.6	0.2	58.9
2.7	5.4	2.2	2.7	2.8	2.5	1.8	0.5	66.1
5.5	4.0	3.9	3.8	3.2	3.3	2.9	0.3	59.5
3.6	4.7	1.9	2.4	2.5	2.9	2.7	0.4	74.9

## Q22 現在の仕事

(設問:あなたは現在仕事をしていますか。所属する企業・団体の主な業種をお答えください。)

<コロナ禍>

(%)

	TOTAL	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道 業	情報通信業
東京圏から東京圏外への移住者	1814	1.1	4.7	11.8	1.6	4.5
男性	1031	1.5	6.7	16.5	1.6	6.5
女性	783	0.6	2.0	5.6	1.5	1.9
うち東京都から	923	2.0	4.8	12.6	1.5	4.9
東京都から3県への移住者	608	0.0	2.8	9.9	0.8	9.7

運輸業	卸売業	小売業	金融・保険業	農林水産業	不動産業	飲食業	宿泊業
3.3	2.2	3.5	3.8	1.3	1.8	1.7	0.5
4.3	2.9	3.2	3.7	1.7	2.2	1.5	0.4
1.9	1.3	4.0	4.0	0.8	1.1	1.9	0.6
3.6	2.3	3.7	5.1	1.7	1.7	1.3	0.2
6.4	2.8	4.4	3.9	0.3	1.5	2.6	0.3

医療・福祉	教育・学習支 援業	サービス業	地方公共団 体・公共サー ビス等	自営業・フ リーランス	その他 具体 的に：	有給の仕事は していない
8.4	3.3	9.4	4.6	4.5	3.0	25.1
5.8	2.8	7.8	5.9	5.2	3.1	16.7
11.7	4.0	11.5	2.8	3.6	2.9	36.1
8.0	4.2	9.4	4.2	5.4	2.8	20.6
6.9	2.1	13.0	3.5	4.8	3.6	20.6

## Q22 現在の仕事(続き)

(設問:あなたは現在仕事をしていますか。所属する企業・団体の主な業種をお答えください。)

<コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道 業	情報通信業
東京圏から東京圏外への移住者	4373	0.1	4.0	12.5	1.6	4.2
男 性	2411	0.2	5.2	17.7	1.9	5.8
女 性	1962	0.1	2.7	6.1	1.2	2.2
うち東京都から	1766	0.1	3.6	12.4	1.6	4.8
東京都から3県への移住者	1348	0.1	3.6	9.4	1.2	8.7

運輸業	卸売業	小売業	金融・保険業	農林水産業	不動産業	飲食業	宿泊業
4.1	2.0	4.9	3.4	1.0	1.5	2.8	0.8
6.3	2.6	4.3	3.6	1.2	1.8	1.7	1.1
1.4	1.3	5.7	3.2	0.7	1.1	4.1	0.6
4.6	1.9	5.0	3.8	1.0	1.2	2.9	0.9
5.4	2.8	5.6	3.0	0.2	1.9	2.7	0.7

医療・福祉	教育・学習支 援業	サービス業	地方公共団 体・公共サー ビス等	自営業・フ リーランス	その他 具体 的に：	有給の仕事は していない
9.3	3.5	10.7	4.5	4.1	2.6	22.4
5.5	3.3	9.5	6.1	4.4	2.6	15.4
14.0	3.7	12.2	2.5	3.8	2.5	30.9
8.5	3.3	10.6	4.7	4.7	2.9	21.3
8.3	2.6	10.8	4.1	3.9	4.3	20.6

## Q23 在宅勤務の有無と利用頻度

(設問:あなたが勤務する企業または団体には在宅勤務(テレワーク)制度がありますか。ある場合はその利用頻度をお答えください。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	在宅勤務制度があり、ほぼ毎日利用している	在宅勤務制度があり、週に2~3日程度利用している	在宅勤務制度があり、週に1日程度利用している	在宅勤務制度はあるが、月に数回程度しか利用していない	在宅勤務制度はあるが、利用したことはない	勤務する企業に在宅勤務制度がない、または在宅勤務制度を適用できる職種ではない
東京圏から東京圏外への移住者	1222	17.6	16.5	8.3	8.6	9.1	39.9
男性	773	20.2	17.3	8.9	9.4	9.8	34.3
女性	449	13.1	15.1	7.1	7.1	7.8	49.7
うち東京都から	657	22.4	16.7	8.8	9.4	8.4	34.2
東京都から3県への移住者	432	20.8	16.4	7.4	7.9	5.8	41.7

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	在宅勤務制度があり、ほぼ毎日利用している	在宅勤務制度があり、週に2~3日程度利用している	在宅勤務制度があり、週に1日程度利用している	在宅勤務制度はあるが、月に数回程度しか利用していない	在宅勤務制度はあるが、利用したことはない	勤務する企業に在宅勤務制度がない、または在宅勤務制度を適用できる職種ではない
東京圏から東京圏外への移住者	3102	8.7	15.5	10.1	9.0	10.3	46.4
男性	1872	9.6	17.9	12.1	10.4	11.6	38.3
女性	1230	7.5	11.8	6.9	6.8	8.2	58.8
うち東京都から	1254	10.9	16.1	10.8	9.0	9.5	43.7
東京都から3県への移住者	960	12.4	14.5	7.6	7.4	7.2	50.9

(注) サンプル数は、全数から「現在の仕事」について「自営業・フリーランス」、「有給の仕事はしていない」、「その他」と回答した者を除いて、雇用者のみを対象にしている。

## Q24 新型コロナウイルス感染リスク収束後の在宅勤務継続希望

(設問:あなたは新型コロナウイルスへの感染リスクが収束した後も在宅勤務(テレワーク)を続けたいですか。)

### <コロナ禍>

(%)

	TOTAL	在宅勤務を続けたい	日数を減らして在宅勤務を続けたい	従来の上社を中心とした勤務形態に戻りたい	わからない
東京圏から東京圏外への移住者	623	53.5	27.3	14.3	5.0
男性	432	52.5	27.3	15.5	4.6
女性	191	55.5	27.2	11.5	5.8
うち東京都から	377	58.4	25.5	12.2	4.0
東京都から3県への移住者	227	63.9	22.0	9.3	4.8

### <コロナ禍以前>

(%)

	TOTAL	在宅勤務を続けたい	日数を減らして在宅勤務を続けたい	従来の上社を中心とした勤務形態に戻りたい	わからない
東京圏から東京圏外への移住者	1343	38.9	39.0	16.2	6.0
男性	937	37.4	39.7	16.6	6.3
女性	406	42.4	37.4	15.0	5.2
うち東京都から	587	42.1	41.4	13.1	3.4
東京都から3県への移住者	402	58.0	25.6	10.4	6.0

(注) サンプル数は、「現在の在宅勤務の有無」に係る回答者のうち、在宅勤務制度の利用者数のみを対象にしている。